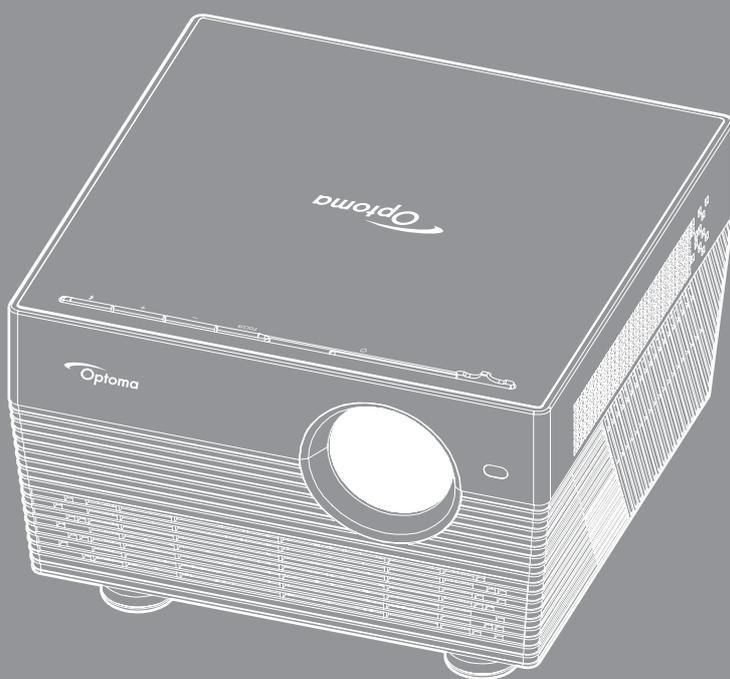




# DLP® プロジェクター



ユーザーマニュアル



# 目次

<b>安全</b> .....	<b>4</b>
安全に関するご注意.....	4
3D 安全情報.....	5
著作権.....	6
免責条項.....	6
商標認識.....	6
FCC.....	6
EU 諸国への適合宣言.....	7
WEEE.....	7
<b>はじめに</b> .....	<b>8</b>
パッケージの内容.....	8
標準アクセサリ.....	8
オプションのアクセサリ.....	8
製品の各部名称.....	9
接続.....	10
キーパッド.....	10
IR リモコン.....	11
Bluetooth リモコン.....	12
<b>設定と設置</b> .....	<b>14</b>
プロジェクターを設置する.....	14
ソースをプロジェクターに接続する.....	15
投射画像の調整.....	16
リモコンの準備.....	18
<b>プロジェクターを使用する</b> .....	<b>20</b>
プロジェクターの電源を入れる/切る.....	20
入力ソースを選択する.....	23
プロジェクターをワイヤレススピーカーとして使用する.....	24
ホーム画面の概要.....	26
プロジェクター設定.....	27
アプリケーション設定.....	40
一般設定.....	52

## 追加情報 ..... 59

対応解像度.....	59
イメージサイズと投射距離.....	60
プロジェクターの寸法と天井取り付け.....	61
IR リモートコード.....	62
Bluetooth リモコンコード.....	63
トラブルシューティング.....	64
LED 点灯メッセージ.....	66
仕様.....	68
プロジェクターでスマートホームを構成する.....	69
Optoma 社グローバルオフィス.....	76

# 安全

	正三角形内部の矢印の付いた稲妻は、製品の筐体内部に感電の恐れのある、絶縁されていない「危険な電圧」が相当な規模で存在していることをユーザーに警告するものです。
	正三角形内部の感嘆符は、機器に付属するマニュアルに、重要な操作およびメンテナンス（修理点検など）に関する指示があることをユーザーに警告するものです。

この取扱説明書で推奨されたすべての警告、安全上のご注意およびメンテナンスの指示に従ってください。

## 安全に関するご注意

- RG1 IEC 62471-5:2015。
- 通気孔を塞がないでください。プロジェクターを過熱から守り、正常な動作を保つため、通気孔を塞がないような場所に設置してください。飲み物等が置かれたコーヒーテーブルや、ソファ、ベッドにプロジェクターを置かないでください。また、本棚、戸棚など風通しの悪い狭い場所に置かないでください。
- 火事や感電のリスクがありますので、プロジェクターを雨や湿気にさらさないでください。ラジエータ、ヒーター、ストーブまたは熱を発生するその他の機器（アンプを含む）など、熱源のそばに設置しないでください。
- プロジェクター内部に、異物や液体が入らないよう、ご注意ください。危険な電圧部分に触れて、部品がショートしたり、火災、感電を引き起こす原因になります。
- 以下のような環境下では使用しないでください。
  - 極端に気温の高い、低い、あるいは湿気の多い場所。
    - (i) 室温が 5°C ~ 40°C の範囲に保たれていることを確認します
    - (ii) 相対湿度は 10% ~ 85% の範囲です
  - 大量のほこりや汚れにさらされる場所。
  - 強い磁場が集まる装置の傍に置く。
  - 直射日光の当たる場所。
- 物理的に破損している、または乱用された痕跡のある装置は使用しないでください。物理的なダメージや酷使とは以下の通りです（ただしこれらに限定されません）：
  - 装置を落とした。
  - 電源装置のコードまたはプラグが壊れている。
  - プロジェクターに液体をこぼした。
  - プロジェクターを、雨や湿気にさらしてしまった。
  - プロジェクター内部に何らかの異物を落とした。または、内部で何かが緩んでいる音がする。
- 不安定な場所にプロジェクターを置かないでください。プロジェクターが落下して壊れたり、人身事故を起こす可能性があります。
- プロジェクターの使用時、プロジェクターのレンズから発せられる光を遮断しないでください。光が物体を暖め、溶解、火傷、火災などを引き起こす恐れがあります。
- プロジェクターのカバーを外したり、本体を分解したりしないでください。感電の原因になります。
- お客様自身でこのプロジェクターを修理しないでください。カバーを開けたり取り外したりすると、危険な電圧やその他の危険にさらされます。本機を修理に出す前に、Optoma にお電話ください。
- 安全に関係するマーキングについては、プロジェクターの筐体をご覧ください。
- 本機の修理は、適切なサービススタッフだけに依頼してください。
- メーカー指定の付属品/アクセサリのみをご使用ください。
- プロジェクターの使用時、プロジェクターのレンズを直視しないでください。強力な光線により、視力障害を引き起こす恐れがあります。

- プロジェクターの電源を切るときは、冷却サイクルが完了したことを確認してから、電源コードを抜いてください。プロジェクターは、少なくとも 90 秒間、放熱させてください。
- 本体のスイッチをオフにして、電源プラグをコンセントから抜いてから、本機をクリーニングしてください。
- ディスプレーの筐体を洗浄する際は、中性洗剤と柔らかい乾いた布をご使用ください。本体を研磨剤、ワックス、溶剤で洗浄しないでください。
- 本機を長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 振動や衝撃を受けるような場所にプロジェクターを設置しないでください。
- レンズを素手で触らないでください。
- 保管前にリモコンから電池を取り外してください。長期間、電池がリモコンに入っていると、液漏れが発生する恐れがあります。
- 石油または煙草からの煙が存在する可能性がある場所でプロジェクターを使用または保管しないでください。プロジェクターの性能が低下する可能性があります。
- プロジェクターは正しい向きで設置してください。標準的な設置方法でなければ、プロジェクターの性能が低下する可能性があります。
- 電源ストリップ、および/または、サージプロテクタを使用してください。停電または電圧低下により装置が破損する恐れがあります。

### 3D 安全情報

推奨されるすべての警告と安全上の注意に従った上で、ご自身またはお子様が 3D 機能をご利用ください。

#### 警告

幼児及び 10 代の方は、3D 鑑賞に関連する健康問題により影響を受けやすくなっています。よって、これらの画像を見る際は十分にご注意ください。

### 光感受性発作の警告及びその他健康面におけるリスク

- プロジェクターの画像やビデオゲームに含まれる点滅画面やライトに曝されると、一部視聴者はてんかん症状や発作を起こす恐れがあります。そのような症状が発生した場合又はてんかんや発作の家族歴がある場合、3D 機能をご使用いただく前に、医療専門家にご相談ください。
- てんかんや発作の個人歴又は家族歴がない方でも、光感受性てんかん発作を引き起こす診断未確定症状が現れる場合があります。
- 妊婦、高齢者、重症患者、不眠症患者やアルコール依存症の方は、当装置の 3D 機能のご使用はお控えください。
- 以下の症状を経験されたことがある方は、ただちに 3D 画像の鑑賞を中止し、医療専門家にお問い合わせください: (1) 視覚の変化、(2) 軽い頭痛、(3) 眩暈、(4) 眼や筋肉の引き攣りといった無意識の動作、(5) 混乱状態、(6) 吐き気、(7) 意識喪失、(8) 痙攣、(9) 急激な腹痛、及び (又は) (10) 見当識障害。幼児及び 10 代の方は大人よりこれらの症状が出やすいとされています。ご両親はお子様を監督され、これらの症状が出ていないかお尋ねください。
- 3D 投射の鑑賞はまた、吐き気、知覚後遺症、見当識障害、眼精疲労、姿勢の安定性減少をもたらす恐れがあります。ユーザーはこれらの影響の可能性を削減するために、頻繁に休憩を取ることが推奨されます。目に疲労や乾き、又は上記のどれか症状が出現した場合、ただちに当機器のご使用を中止いただき、症状が落ち着いてから最低 30 分はご使用をお控えください。
- 長時間、かなり画面の近くに座って 3D 投射を鑑賞すると、視力にダメージを与える恐れがあります。理想的な鑑賞距離は、画面高さの最低 3 倍の距離となっています。また視聴者の目の位置が画面の高さにあることが推奨されます。
- 3D 眼鏡をかけながらの長時間にわたる 3D 投射の鑑賞は、頭痛や疲労を引き起こす恐れがあります。頭痛、疲労や眩暈を感じた場合、3D 投射の鑑賞を中止し、休憩してください。
- 3D 投射の鑑賞以外の目的での 3D 眼鏡のご使用はお止めください。
- その他目的 (通常の眼鏡、サングラス、保護ゴーグルなど) のための 3D 眼鏡の着用は、肉体的傷害を引き起こしたり、視力の低下をもたらす恐れがあります。
- 3D 投射の鑑賞は、一部視聴者において見当識障害を引き起こす恐れがあります。よって、広い階段の吹き抜け、ケーブル、バルコニーやその他転んだり、衝突したり、倒れたり、壊れたり、落ちたりする可能性がある場所の傍に 3D プロジェクターを設置しないでください。

## 著作権

この出版物は、すべての写真、イラスト、ソフトウェアを含め、著作権に関する国際法の下で保護され、無断複写・転載が禁じられます。このマニュアルもこの中に含まれるいかなる素材も作者の書面による同意なしで複製することはできません。

© 著作権 2018

## 免責条項

本書の情報は予告なしで変更されることがあります。製造者は本書の内容についていかなる表明も保証もせず、特に、商品性または特定目的の適合性について、いかなる暗黙的保証も否定します。製造者は本出版物を改訂し、その内容を折に触れて変更する権利を留保します。ここで、かかる改訂または変更を通知する義務は製造者にはないものとします。

## 商標認識

Kensington は ACCO Brand Corporation の米国登録商標であり、世界中の他国で登録され、あるいは登録申請中になっています。

HDMI、HDMI ロゴ、High-Definition Multimedia Interface は米国とその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

DLP®、DLP Link および DLP ロゴは、Texas Instruments の登録商標です。BrilliantColor™ は、Texas Instruments の商標です。



Dolby Laboratories からのライセンス下で製造されています。

Dolby、Dolby Audio および double-D 記号は、Dolby Laboratories の商標です。

Amazon、Alexa および関連するロゴは、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。

本書に記載されているその他すべての製品名はそれぞれの所有者の財産であり、認知されています。

## FCC

本装置は、FCC 基準パート 15 に準ずる Class B のデジタル電子機器の制限事項に準拠しています。これらの制限は、居住地において有害な干渉からの適切な保護を提供するために設定されています。本装置は高周波エネルギーを生成し使用しています。また、高周波エネルギーを放射する可能性があるため、指示に従って正しく設置しなかった場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。

しかし、干渉が個々の設置において発生しないと保証することはできません。本装置の電源を切ったり入れたりすることにより、本装置がラジオやテレビ受信に有害な干渉をもたらしていることが確認できる場合は、下記の手順で改善を試みてください：

- 受信アンテナの再設定又は移動。
- 本装置と受信機の距離を離す。
- 受信機の接続とは異なる回路のコンセントを本装置へ接続。
- 販売代理店又は資格のある無線/テレビ技術者へのお問い合わせ。

## 注意: シールドケーブル

その他コンピューターデバイスへの全ての接続は、FCC 規則を遵守するために、シールドケーブルを必ず使用して行ってください。

### 注意事項

本装置に対しメーカーが明確に認定していない変更や修正を加えると、連邦通信委員会で許可されているユーザー権限が無効になることがあります。

### 運転状況

本装置は、FCC 規則パート 15 に準拠しています。運転は、以下の 2 つの状況を前提とします:

1. 本装置は、有害な干渉を引き起こしてはならない。
2. 本装置は、不要な作動を引き起こす恐れのある干渉を含む干渉受信を許容する。

### 注意: カナダにお住まいのユーザーへ

当 Class B デジタル機器は、カナダ ICES-003 に準拠しています。

Remarque à l'intention des utilisateurs canadiens

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

## EU 諸国への適合宣言

- EMC 指令 2014/30/EC (修正案を含む)
- 低電圧指令 2014/35/EC
- R & TTE 指令1999/5/EC (製品に RF 機能が搭載されている場合)

## WEEE



### 廃棄物についての指示

当機器を処分する際、電子装置はゴミ箱に捨てないでください。汚染を最小限に抑え、最大限グローバルな環境を保護するために、リサイクルください。

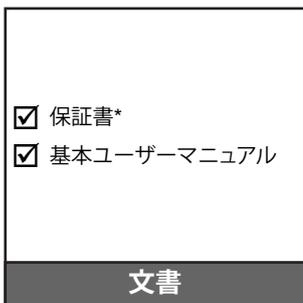
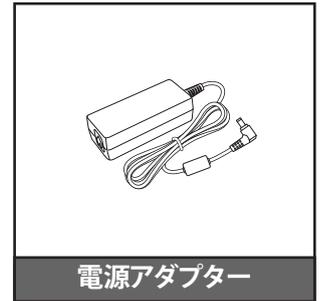
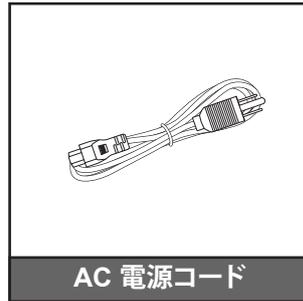
# はじめに

## パッケージの内容

慎重に箱から取り出し、下の標準付属品に記載されている品目が揃っていることを確認します。オプションの付属品については、モデル、仕様、購入地域によっては入っていない場合があります。購入場所で確認してください。地域によっては付属品が異なる場合があります。

保証書は一部の地域でのみ同封されます。詳細については、販売店にお問い合わせください。

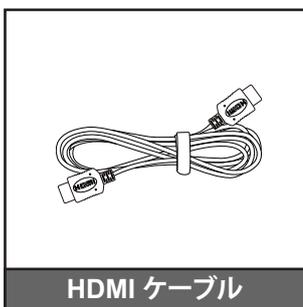
## 標準アクセサリ



### 注記:

- ・ リモコンは電池と共に出荷されます。
- ・ 実際のリモコンは、地域により変わることがあります。
- ・ \* 欧州の保証情報については、[www.optoma.com](http://www.optoma.com) にアクセスしてください。

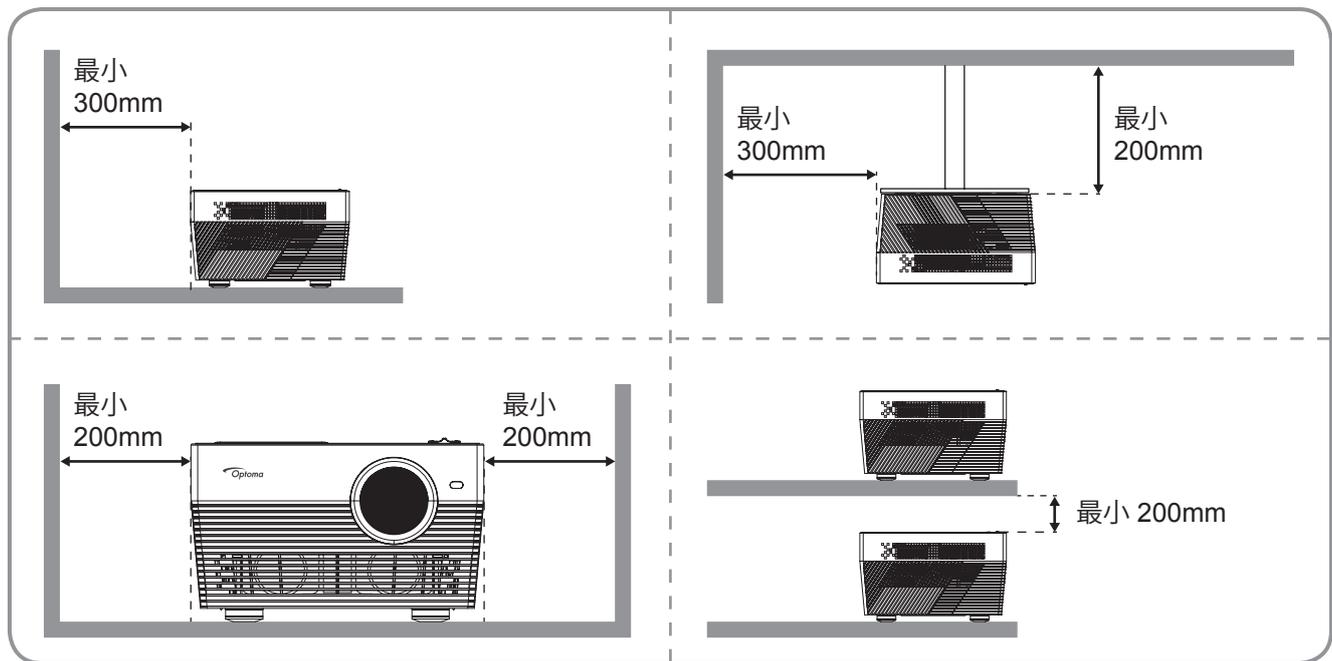
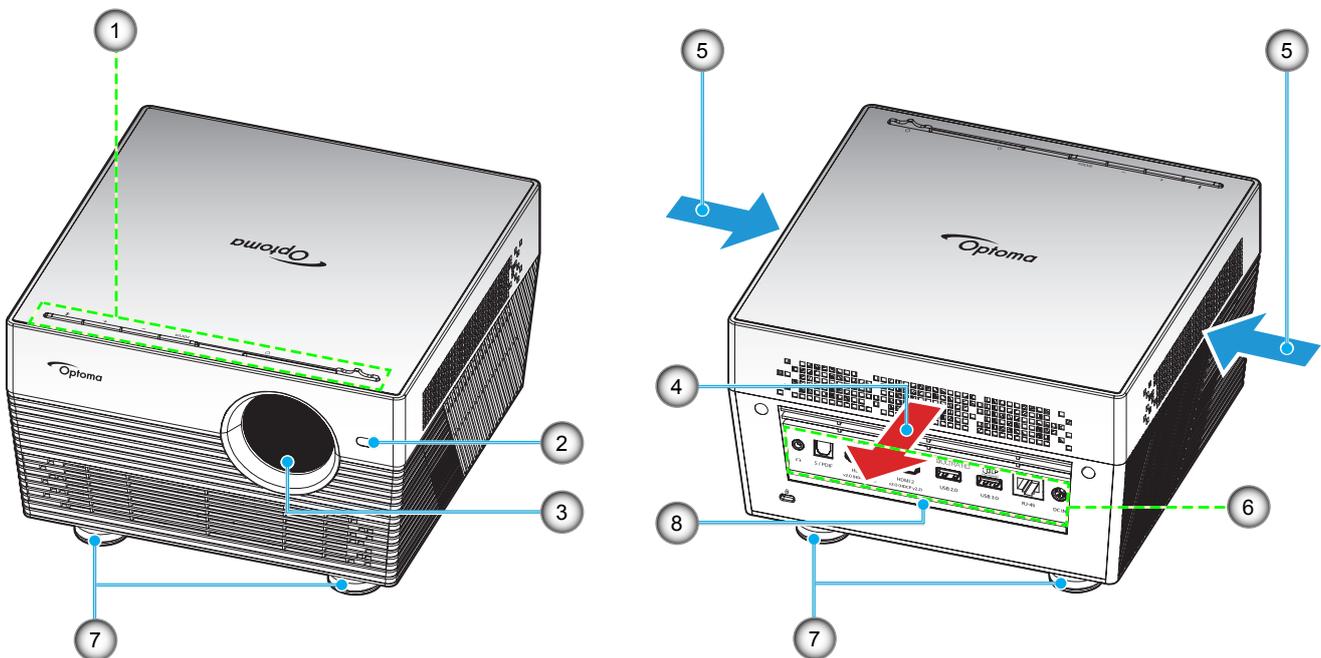
## オプションのアクセサリ



**注記:** オプションのアクセサリは、モデル、仕様、地域によって異なります。

# はじめに

## 製品の各部名称



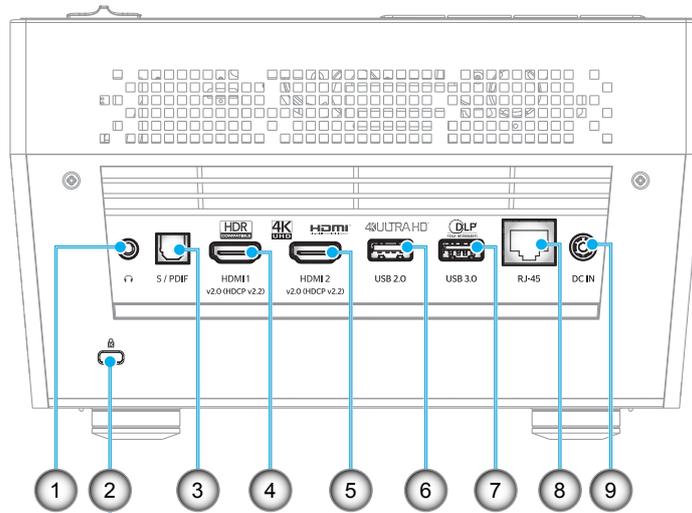
### 注記:

- プロジェクターの吸気口または排気口を塞がないでください。
- プロジェクターを閉じられた空間で操作するときは、吸気口および排気口を少なくとも 20cm 隙間をあけてください。

番号	アイテム	番号	アイテム
1.	キーパッド	5.	換気 (吸気口)
2.	自動フォーカスセンサー	6.	入/出力
3.	レンズ	7.	チルト調整フット
4.	換気 (排気口)	8.	IR レシーバー

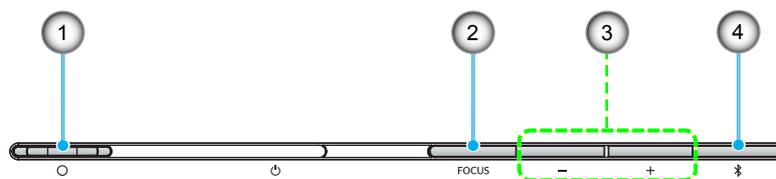
# はじめに

## 接続



番号	アイテム	番号	アイテム
1.	ヘッドホン端子	6.	USB2.0 端子 (電源 5V 1A)
2.	Kensington™ ロック ポート	7.	USB3.0 端子 (電源 5V 1.5A)
3.	S/PDIF 端子	8.	RJ-45 端子
4.	HDMI 1 端子	9.	DC 入力端子
5.	HDMI 2 端子		

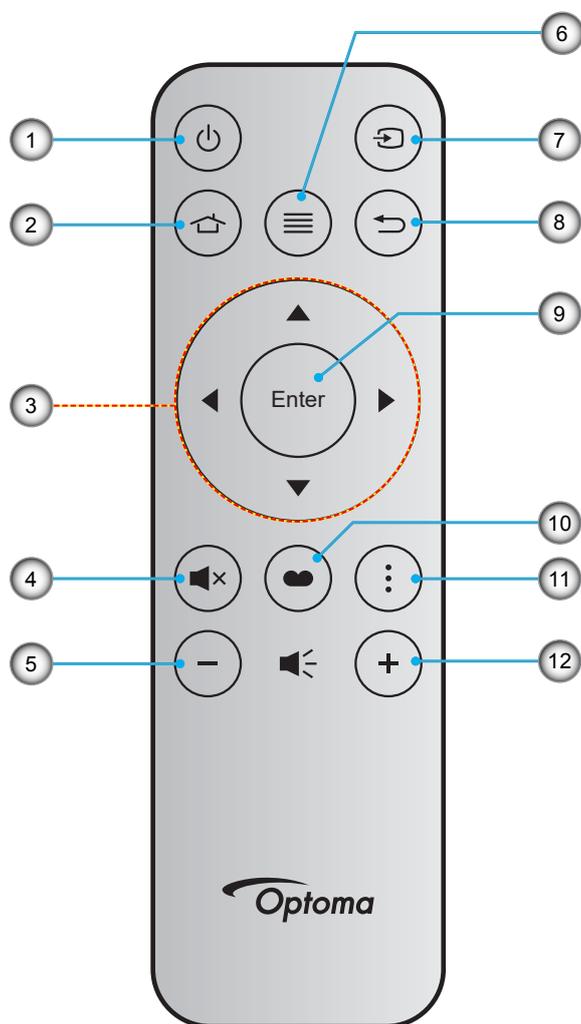
## キーパッド



番号	アイテム	番号	アイテム
1.	レンズカバーレバー (ドア開/ドア閉)	3.	音量調整/手動フォーカス調整/メディア 選択
2.	フォーカス (短く押す: 手動フォーカス、 長く押す: 自動フォーカス)	4.	オーディオモード/電源オン・オフ/ LED ステータス

# はじめに

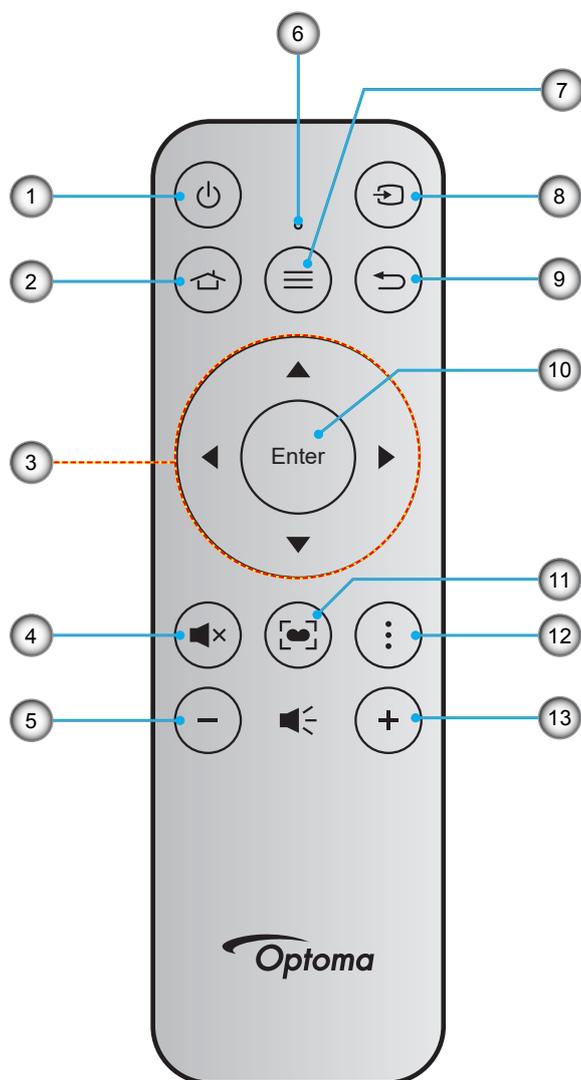
## IR リモコン



番号	アイテム	番号	アイテム
1.	電源オン/オフ	7.	ソース
2.	ホーム	8.	戻る
3.	4方向選択キー	9.	入力
4.	ミュート	10.	ディスプレイモード
5.	音量 -	11.	オプション
6.	メニュー	12.	音量 +

# はじめに

## Bluetooth リモコン



番号	アイテム	番号	アイテム
1.	電源オン/オフ	8.	ソース
2.	ホーム	9.	戻る
3.	4方向選択キー	10.	入力
4.	ミュート	11.	ディスプレイモード (短く押す: ディスプレーモード、 長く押す: 自動フォーカス)
5.	音量 -	12.	オプション
6.	ステータス LED	13.	音量 +
7.	メニュー		

# はじめに

## Bluetooth リモコンとプロジェクターをペアリングする

⏏ および 🔊 ボタンを同時に 2 秒間押します。Bluetooth リモコン上のステータス LED が点滅し、デバイスがペアリングモードであることを示します。

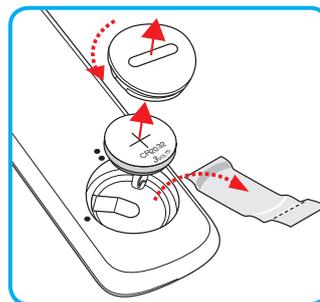


ペアリングプロセスには、約 20 秒かかります。ペアリングに成功すると、Bluetooth リモコン上のステータス LED は、青色に点灯します。ペアリングに失敗した場合は、Bluetooth リモコン上のステータス LED は、赤色に点灯します。

Bluetooth リモコンは、10 分間アイドル状態になった場合、自動的にスリープモードに入り、Bluetooth は切断されます。

### 注記:

- 実際のリモコンは、地域により変わることがあります。
- キーによっては、これらの特長をサポートしていないモデルの機能がない場合があります。
- 初めてリモコンを使用する前に、透明の絶縁テープを剥がしてください。電池の取り付けについては、18 ページを参照してください。

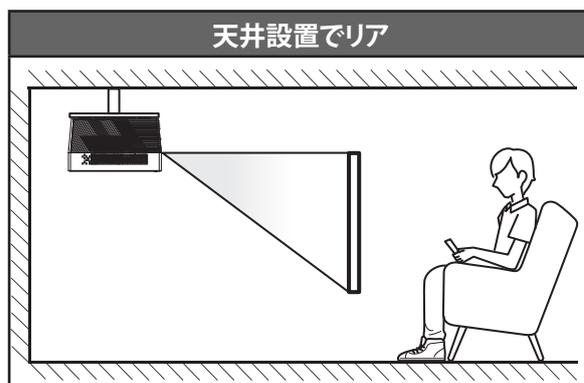
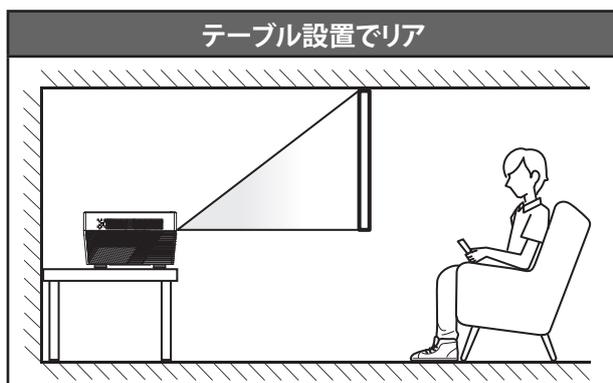
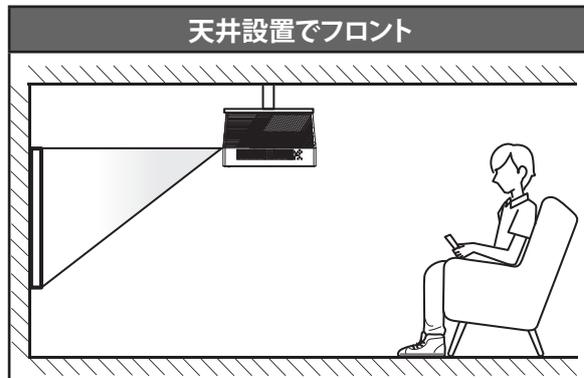
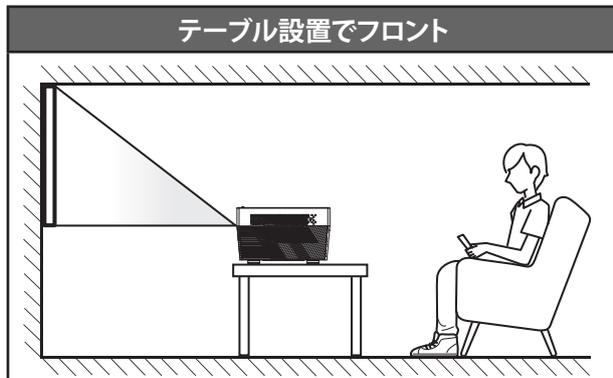


# 設定と設置

## プロジェクターを設置する

このプロジェクターは設計上、4つの設置方法のいずれかを選んで設置できます。

部屋の設計や個人の好みに合わせて設置方法を決めてください。スクリーンの大きさと位置、コンセントの場所、プロジェクターとその他の機材の位置と間の距離を考慮します。



プロジェクターは平らな場所に置き、スクリーンに対して90度/垂直にします。

- 特定のスクリーンサイズに対してプロジェクターの位置を決定する方法については、60ページの距離表を参照してください。
- 特定の距離に対してスクリーンサイズを決定する方法については、60ページの距離表を参照してください。

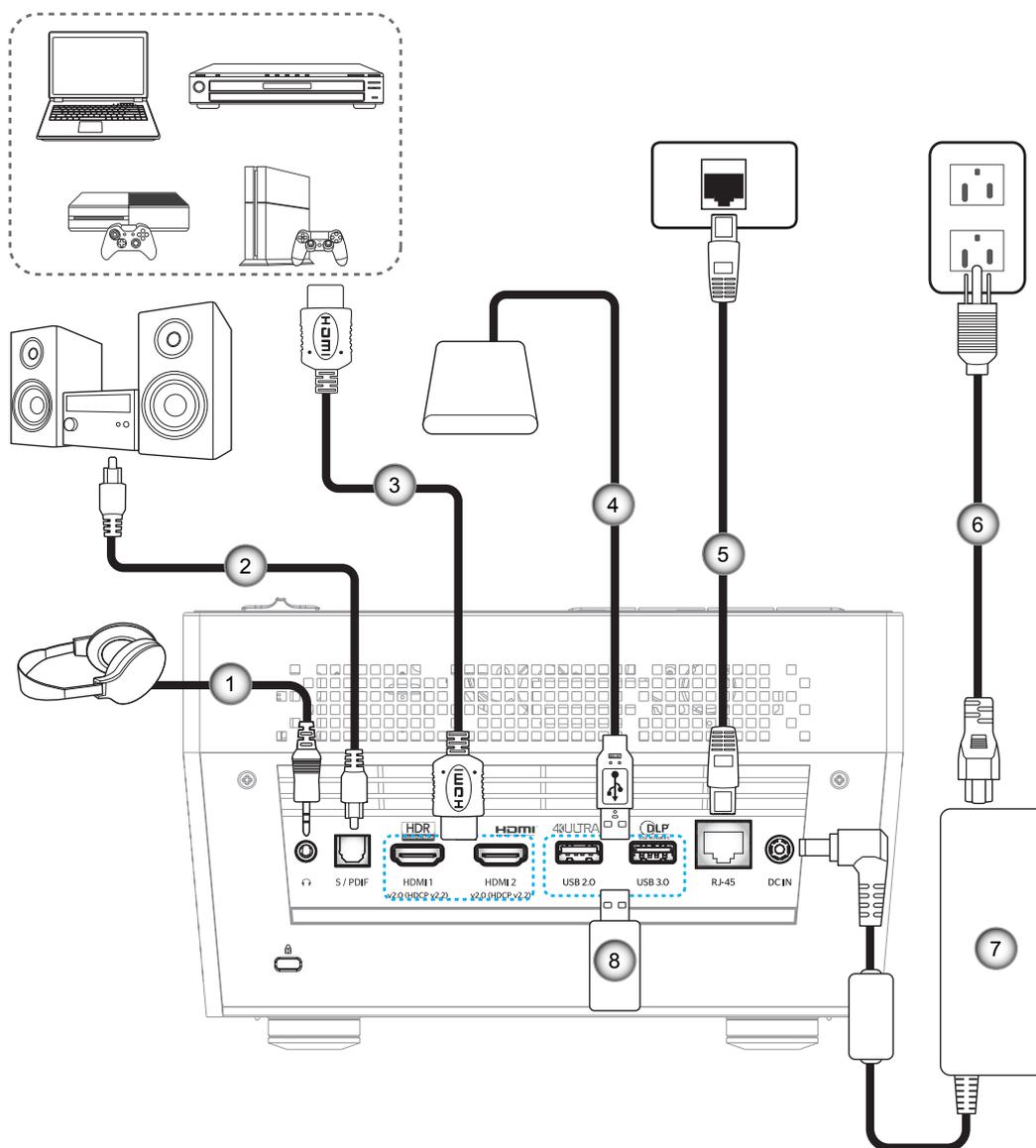
**注記:** プロジェクターとスクリーンの間の距離が離れると、投射される画像がそれだけ大きくなり、垂直オフセットも比例して大きくなります。

### 重要!

机上または天井取り付け以外の向きでプロジェクターを操作しないでください。プロジェクターは水平にし、前後または左右に傾けないようにしてください。それ以外の向きは保証を無効にします。また、プロジェクター自体の寿命を短くする恐れがあります。非標準設置に関するアドバイスについては、Optomaにお問い合わせください。

# 設定と設置

## ソースをプロジェクターに接続する



番号	アイテム
1.	オーディオ出力ケーブル
2.	S/PDIF 出力ケーブル
3.	HDMI ケーブル

番号	アイテム
4.	USB ケーブル
5.	RJ-45 ケーブル
6.	電源コード

番号	アイテム
7.	電源アダプター
8.	USB フラッシュドライブ

**注記:** USB マウスまたはキーボードを USB ポートに接続できます。

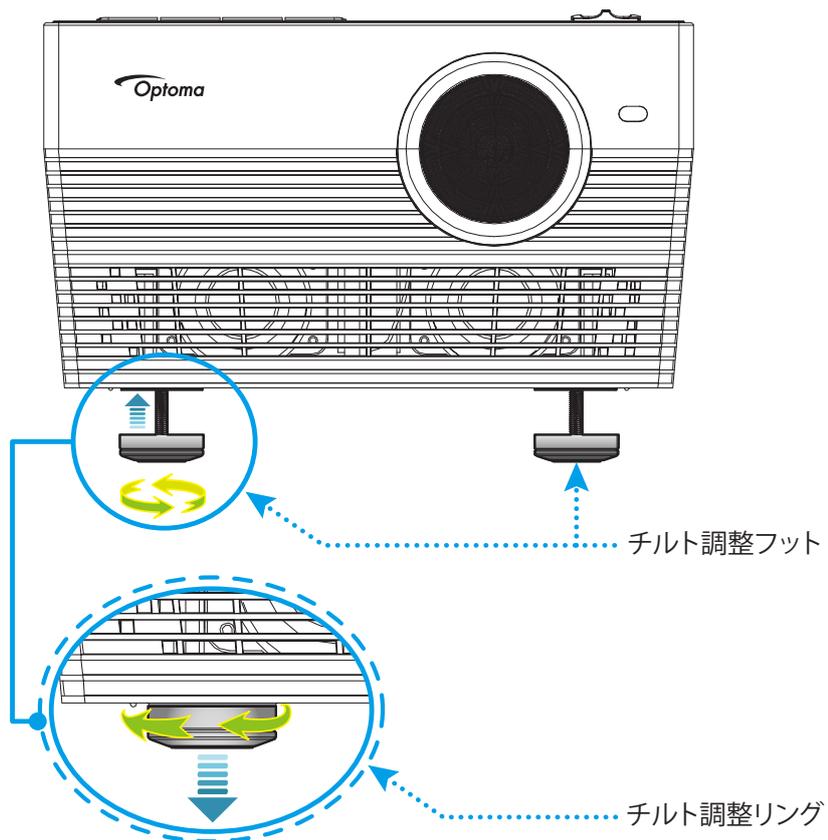
# 設定と設置

## 投射画像の調整

### 画像の高さ

本プロジェクターには、投射映像の高さを調整するためのチルト調整フットがあります。

1. プロジェクターの底面の、変更したい調整フットを探します。
2. 調整フットを時計方向/反時計方向に回してプロジェクターを上げ下げします。

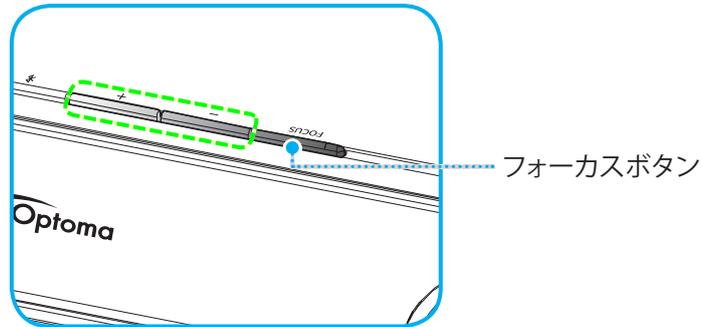


# 設定と設置

## フォーカス

フォーカスを調整するには、以下のいずれかを行ってください:

- [FOCUS] ボタンを長押しして、プロジェクターにフォーカスを自動調整させます。
- [FOCUS] ボタンを押し、次に、[+] または [-] ボタンを押して、画像が鮮明になり、文字が読めるようになるまで、フォーカスを調整します。



- Bluetooth リモコンを使用している場合、[●] ボタンを長押しして、自動フォーカス調整を実行します。

### 注記:

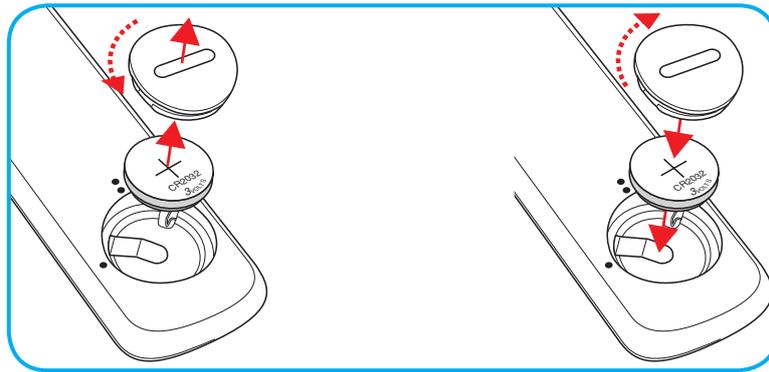
- 自動フォーカス範囲は、0.8m ~ 2m ±10% です。投射距離が指定範囲内でない場合は、手動フォーカス調整を実行して、投射画像のフォーカスを合わせる必要があります。
- Bluetooth リモコンを使用して、フォーカスを調整する場合は、Bluetooth リモコンとプロジェクターが正常にペアリングされ、接続がアクティブであることを確認してください。

# 設定と設置

## リモコンの準備

### 電池の取り付け/交換

1. カバーが開くまでコインを使用して、電池カバーを反時計回りに回します。
2. コンパートメントに新しい電池を取り付けます。  
古い電池を取り外し、新しい電池を取り付けます (CR2032)。「+」のある面を必ず上に向けてください。
3. カバーを元のように取り付けます。次にコインを使用して、電池カバーを時計回りに回して、所定の位置に固定します。



#### 注意事項:

安全な操作を保証するため、以下の注意事項を遵守してください。

- CR2032 タイプの電池を使用してください。
- 水または液体に接触させないようにしてください。
- リモコンを湿気または熱に曝さないでください。
- リモコンを落下させないでください。
- 電池がリモコン内で液漏れした場合は、慎重にケースをきれいに拭き取り、新しい電池を取り付けてください。
- 間違ったタイプの電池に交換すると爆発の危険性があります。
- 指示に従って、使用済電池を廃棄してください。

# 設定と設置

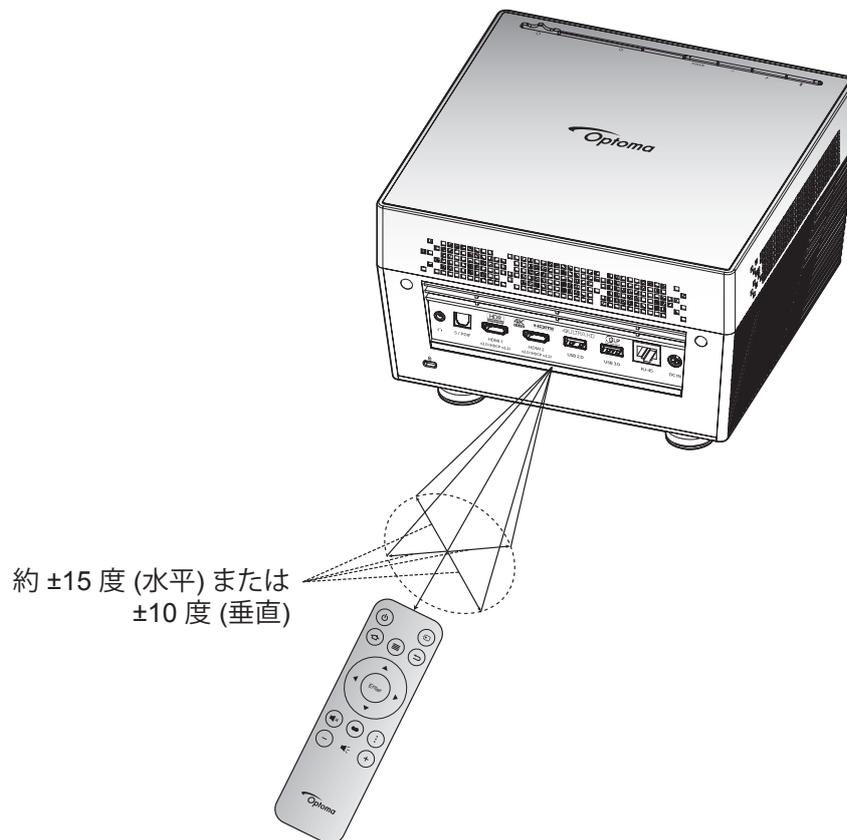
## 有効範囲

赤外線 (IR) リモコンセンサーはプロジェクターの背面にあります。プロジェクターの IR リモコンセンサーに対して 30 度 (水平) または 20 度 (垂直) 以内の角度でリモコンを向けると正常に動作します。リモコンとセンサーの間の距離は 7 メートル (22 フィート) 以内にする必要があります。

また、投射画像に向けることにより、リモコンを操作できます。

**注記:** IR センサーに対して直接リモコンを向ける場合 (0 度の角度)、リモコンとセンサーの間の距離が、10 メートル (32 フィート) を超えないようにしてください。

- リモコンとプロジェクターの IR センサーの間に赤外線ビームを遮断するような障害物がないことを確認します。
- リモコンの IR 伝送装置に太陽や蛍光灯の光を直接当てないでください。
- リモコンは蛍光灯から 2 メートル以上離さないと誤作動が起こることがあります。
- リモコンがインバータータイプの蛍光灯に近いと、動作しないことがあります。
- リモコンとプロジェクターの距離が近いと、リモコンが動作しないことがあります。
- スクリーンに向けるときは、リモコンからスクリーンまでの有効距離が 7 メートル以内であれば、IR ビームが反射してプロジェクターに届きます。ただし、有効範囲はスクリーンによって変わることがあります。

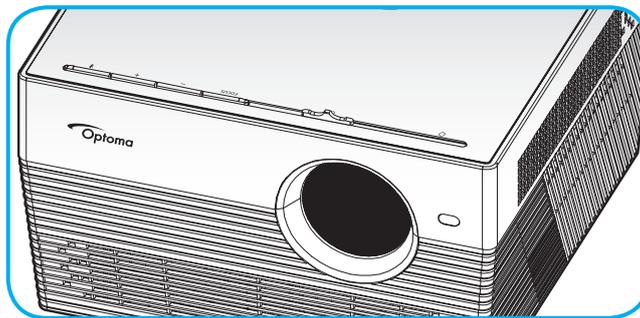


# プロジェクターを使用する

## プロジェクターの電源を入れる/切る

### パワーオン

1. AC 電源コードの一方の端を電源アダプターに接続します。次に、電源アダプターをプロジェクターの DC 入力端子に接続します。
2. AC 電源コードの他方の端を電源コンセントに接続します。正しく接続されると、ステータス LED が赤く点灯します。
3. 次の方法のいずれかにより、プロジェクターをオンに切り替えます：
  - レンズドアが閉じている場合は、レンズカバーを  側にスライドさせます。
  - レンズカバーが開いている場合は、 ボタンを押して、オンに切り替えます。



起動中、ステータス LED が、緑色に点滅します。ステータス LED が、白色に点灯すると、プロジェクターの使用準備が整ったことを示します。

初めてプロジェクターの電源を入れると、使用言語、投射方向、電源モード設定の選択を含む初期設定を行うように求められます。**設定完了**画面が表示されたら、これはプロジェクターが使用できる状態であることを示します。



[言語の選択]



[投射モードの選択]



[電源モードの選択]



[Wi-Fi をスキャン中]

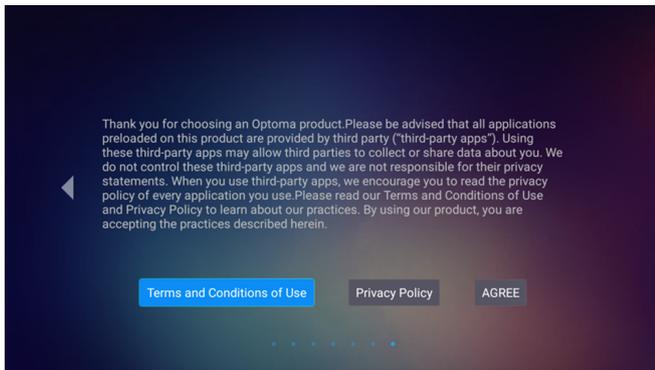
# プロジェクターを使用する



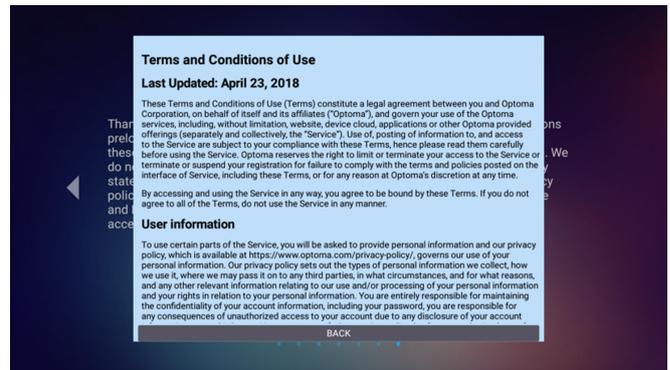
[Wi-Fi を選択]



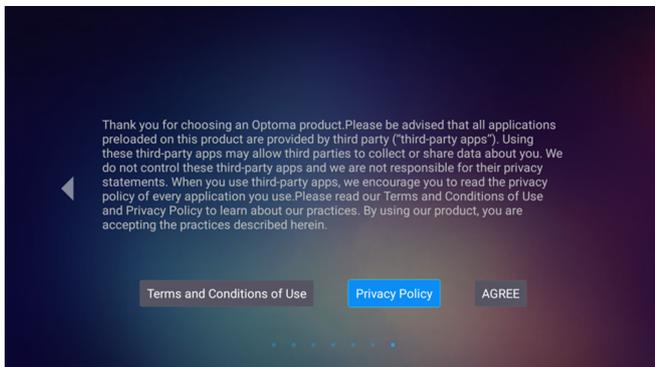
[タイムゾーンを選択]



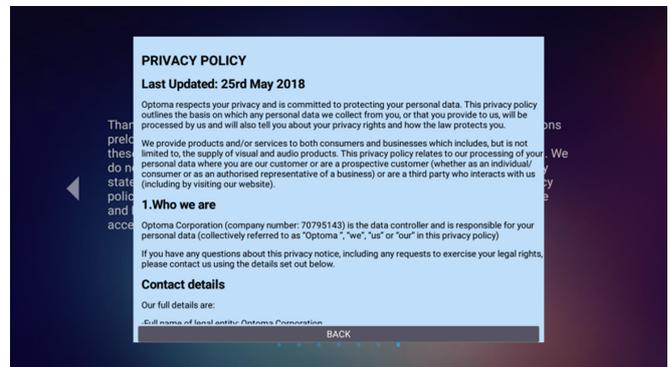
[利用規約を選択]



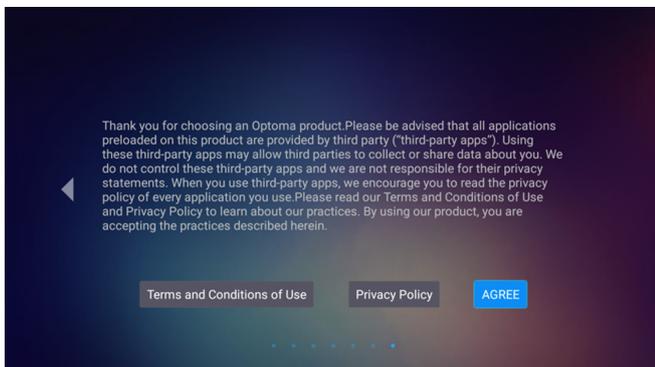
[利用規約画面]



[個人情報保護方針を選択]



[個人情報保護方針画面]



[同意を選択]

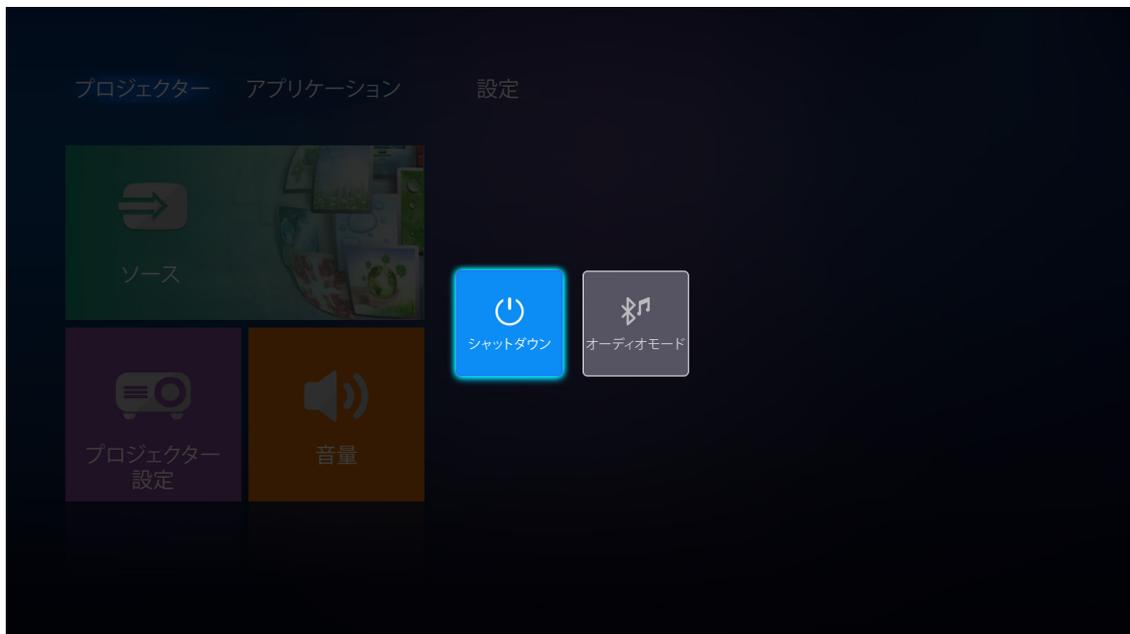


[ホーム画面]

# プロジェクターを使用する

## 電源オフ

1. プロジェクターのキーパッドの **[\*]** またはリモコンの **[⏻]** を押し、プロジェクターの電源を切ります。次のメッセージが表示されます。



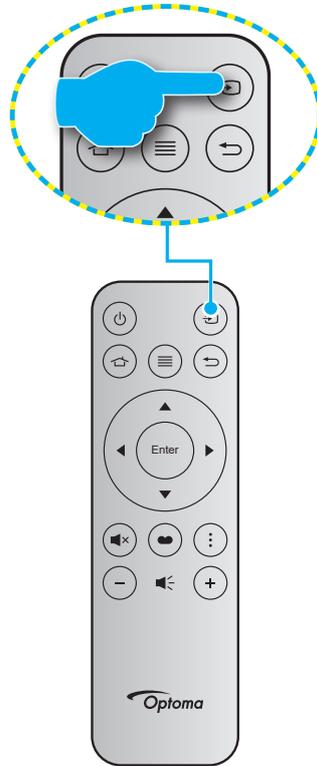
2. プロジェクターのキーパッドの **[+]/[-]** ボタンまたはリモコンの **[◀]/[▶]** ボタンを押して、**シャットダウン** を選択します。次に、プロジェクターのキーパッドの **[\*]** ボタンまたはリモコンの **[Enter]** ボタンを押して、確定します。
3. 冷却ファンは約 10 秒間作動し続けて冷却を行うと、ステータス LED が白色に点滅します。ステータス LED が赤色に点灯すると、プロジェクターはスタンバイモードに入っています。プロジェクターの電源を再び入れる場合、冷却サイクルを終了し、スタンバイモードに入るまで待つ必要があります。プロジェクターがスタンバイモードに入ったら、**[\*]/[⏻]** ボタンを押すだけで、プロジェクターの電源が再び入ります。
4. 電源アダプターをプロジェクターから切断し、AC 電源コードを電源コンセントから切断します。

**注記:** 電源を切った直後にプロジェクターの電源を入れる行為は推奨されません。

# プロジェクターを使用する

## 入力ソースを選択する

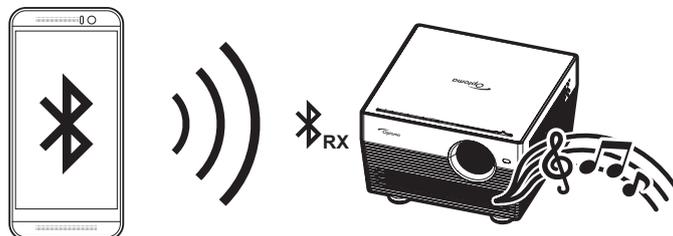
スクリーンに表示する接続ソース (コンピューター、ノートパソコン、ビデオプレーヤーなど) の電源を入れます。プロジェクターは、ソースを自動的に検出します。複数のソースが接続されている場合、プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの [↔] ボタンを押し、入力を選択します。



# プロジェクターを使用する

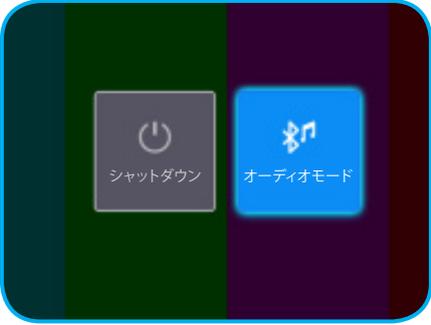
## プロジェクターをワイヤレススピーカーとして使用する

内蔵 Bluetooth モジュールにより、スマートフォン、タブレット、PC または他の Bluetooth 対応デバイスから音楽をワイヤレスで聴くことができます。



## オーディオモードへの切り替え

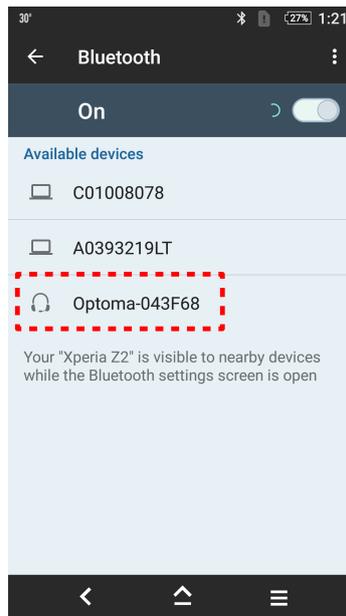
次のいずれかの方法により、オーディオモードに切り替えることができます。

ステータス	方法 1	方法 2
ドア開 (レンズカバー位置は、  側にあります)	<ul style="list-style-type: none"><li>プロジェクターがオンになっている場合は、プロジェクターのキーパッドの  ボタンを押して、プロジェクターをオフに切り替えます。確認メッセージが表示されたら、<b>オーディオモード</b> を選択します。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>プロジェクターがオフになっている場合は、プロジェクターのキーパッドの  ボタンまたはリモコンの  ボタンを押します。次に、 ボタンをもう一度押して、プロジェクターをオフに切り替えます。確認メッセージが表示されたら、<b>オーディオモード</b> を選択します。</li></ul>
		
ドア閉 (レンズカバー位置は、  側にあります)	<ul style="list-style-type: none"><li>プロジェクターのキーパッドの  ボタンを押します。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>リモコンの  ボタンを押します。</li></ul>

# プロジェクターを使用する

## Bluetooth デバイスとプロジェクターをペアリングする

1. プロジェクターを自動モードに設定します。「オーディオモードへの切り替え」のセクション (24 ページ) を参照してください。  
プロジェクターのステータス LED (青色 LED と赤色 LED が交互に) 点滅し、デバイスがペアリングモードにあることを示します。
2. Bluetooth デバイスで、**設定**をタップし、Bluetooth 機能をオンにします。次に、プロジェクターを検索しま



3. 接続するプロジェクターをタップし、ペアリングを開始します。
4. プロジェクターが可聴トーンを鳴らし、ステータス LED が青色に点灯し、ペアリングが成功し、デバイスが接続されたことを示します。
5. Bluetooth デバイスで、再生する曲を参照・選択します。  
プロジェクターのキーパッドの [+] / [-] ボタンを使用して、音量レベルを調整します。

### 注記:

- プロジェクターは、最大 10 台のデバイスのペアリング情報を保存できます。しかし、一度に 1 台の Bluetooth デバイスのみを接続できます。
- Bluetooth デバイスとプロジェクターの間の距離が、10 メートル以下であることを確認してください。

# プロジェクターを使用する

## ホーム画面の概要

プロジェクターを起動するたびにホーム画面が表示されます。メインホーム画面からは、基本的に3つのカテゴリ(プロジェクター、アプリケーションおよび設定)に分かれています。

ホーム画面をナビゲートするには、リモコンまたはプロジェクターのキーパッドを使用します。

現在のページに関係なく、リモコンの  ボタンを押すと、いつでもメインのホーム画面に戻ることができます。



# プロジェクターを使用する

## プロジェクター設定

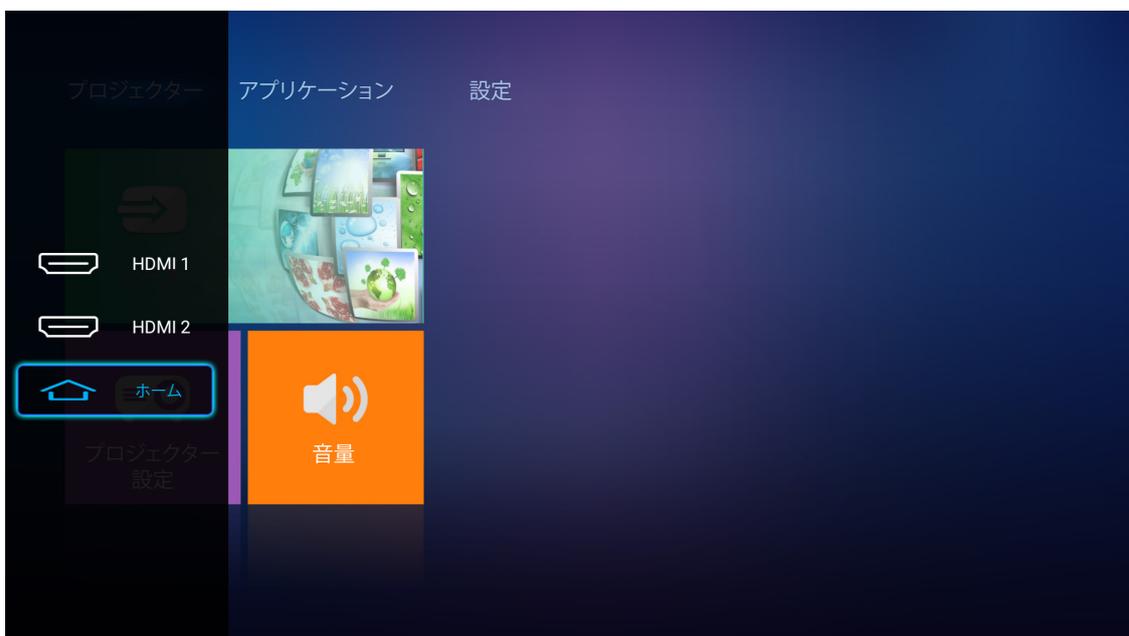
プロジェクターのホーム画面で、入力ソースを変更したり、プロジェクター設定を構成したり、音量レベルを調整したりすることができます。

## 入力ソースを選択する

リモコンの **[⇨]** ボタンを押して、所望の入力を選択する以外に、**ソース** オプションを選択して、入力ソースを変更することもできます。次に、リモコンの **[Enter]** を押して、**ソース** メニューに入ります。



利用可能な入力ソースのオプションが画面に表示されます。



所望の入力ソースを選択し、リモコンの **[Enter]** を押して、選択を確認します。

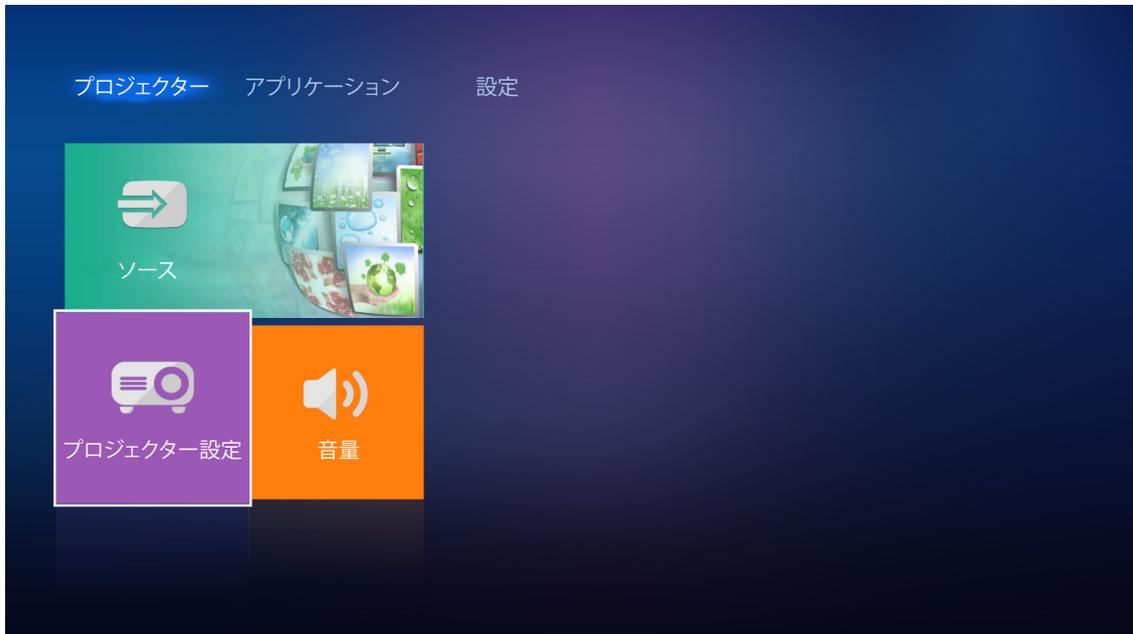
**注記:** デフォルトで、入力ソースは**ホーム**に設定されます。

# プロジェクターを使用する

## プロジェクター設定を行います。

プロジェクター設定を選択して、デバイス設定の構成、システム情報の表示、システム設定の復元を含む様々なデバイス構成を管理します。

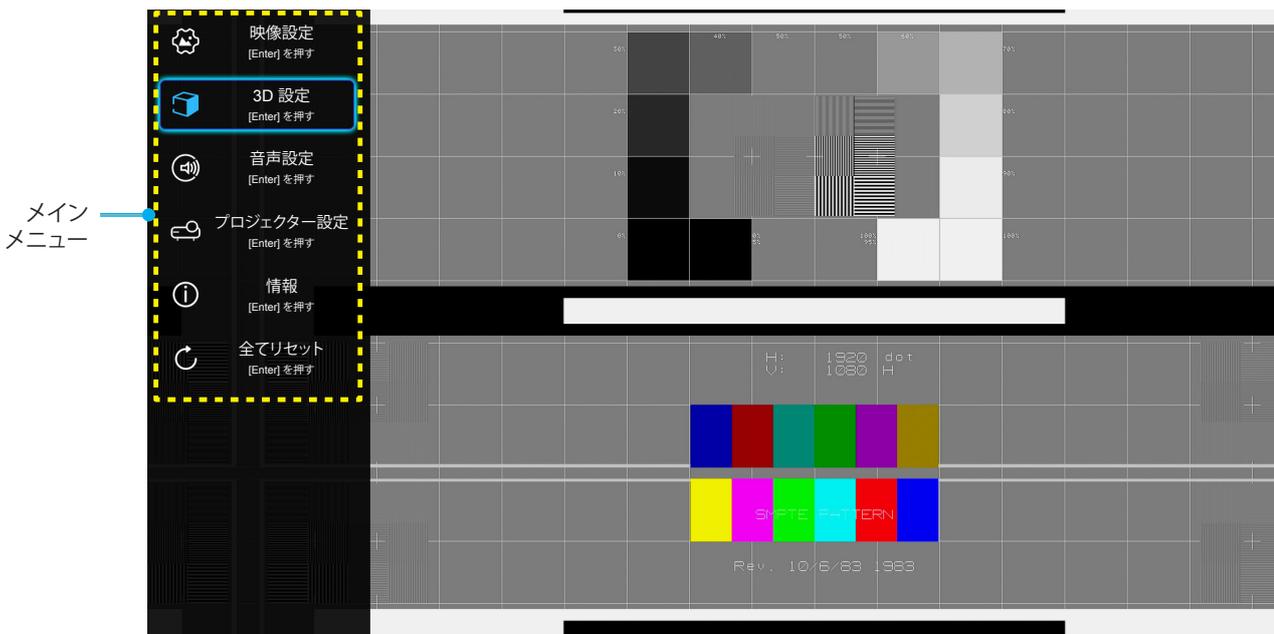
**注記:** 特に指定しない限り、このセクションでは、IR リモコンを使用する操作を説明します。



## 一般的なメニューのナビゲーション

1. リモコンの **[Enter]** を押して、**プロジェクター設定** メニューに入ります。

**注記:** また、リモコンの **≡** を押して、**プロジェクター設定** メニューにアクセスできます。



2. OSD が表示されたら、**▲▼** キーを使ってメインメニューの任意の項目を選択します。特定のページを選択し、リモコンの **[Enter]** を押して、サブメニューに進みます。
3. **▲▼** キーを使用して、サブメニューで希望のアイテムを選択し、次に、**[Enter]** を押して、詳細設定を表示します。**◀▶** キーによって設定を調整します。

# プロジェクターを使用する

- サブメニューから次に調整したい項目を選択し、上記手順と同様に設定を調整します。
- 終了するには、もう一度≡を押します。オンスクリーンメニューが終了し、プロジェクターは自動的に新しい設定を保存します。

## OSD メニューツリー

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	値		
映像設定	ディスプレイモード			シネマ		
				HDR		
				HDR SIM.		
				ゲーム		
				リファレンス		
				ブライト		
				ユーザー		
				3D		
				ISF Day		
				ISF Night		
	ダイナミック範囲	HDR			自動 [デフォルト]	
					オフ	
		HDR ピクチャモード			ブライト	
					標準 [デフォルト]	
					フィルム 詳細	
	輝度			-50 ~ +50		
	コントラスト			-50 ~ +50		
	シャープネス			1 ~ 15		
	色			-50 ~ +50		
	色あい			-50 ~ +50		
	ガンマ [非 3D モード]				フィルム	
					ビデオ	
					グラフィック	
					標準 (2.2)	
					1.8	
					2.0	
	ガンマ [3D モード]				2.4	
					3D	
		色設定	色温度			標準
						Cool
					Cold	
	色設定	カラースペース			自動 [デフォルト]	
				RGB (0~255)		
				RGB (16~235)		
				YUV (0~255)		
				YUV (16~235)		

# プロジェクターを使用する

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	値
映像設定	色設定	カラーマッチング	色	赤 [デフォルト]
				緑
				青
				シアン
				黄
				マゼンタ
				白
		色あいまたは 赤ゲイン	-100 ~ +100 [デフォルト: 0]	
		彩度または 緑ゲイン	-100 ~ +100 [デフォルト: 0]	
		ゲイン または 青ゲイン	-100 ~ +100 [デフォルト: 0]	
		RGB ゲイン/バイアス	赤ゲイン	-50 ~ +50 [デフォルト: 0]
			緑ゲイン	-50 ~ +50 [デフォルト: 0]
			青ゲイン	-50 ~ +50 [デフォルト: 0]
			赤バイアス	-50 ~ +50 [デフォルト: 0]
			緑バイアス	-50 ~ +50 [デフォルト: 0]
	青バイアス		-50 ~ +50 [デフォルト: 0]	
	ブライトネスモード			DynamicBlack 1
				DynamicBlack 2
				DynamicBlack 3
				100%
				95%
				90%
				85%
				80%
				75%
				70%
				65%
				60%
			55%	
			50%	
	デジタルズーム			-5 ~ 25 [デフォルト: 0]
	アスペクト比			4:3
				16:9
			ネイティブ	
			自動 [デフォルト]	
ピュアモーション			オフ	
			低	
			中	
			高	
リセット				

# プロジェクターを使用する

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	値	
3D 設定	3D モード			オン	
				オフ [デフォルト]	
	3D 映像フォーマット			自動 [デフォルト]	
				サイドバイサイド	
				トップアンドボトム	
				フレームパッキング	
	3D 同期反転			オン	
			オフ [デフォルト]		
音声設定	内蔵スピーカー			オン [デフォルト]	
				オフ	
	サウンド効果			シアター [デフォルト]	
				音楽	
	オーディオ出力			オン	
				オフ [デフォルト]	
	SPIDF			Bitstream [デフォルト]	
			PCM		
ミュート			オン		
			オフ [デフォルト]		
音量			0 ~ 100 [デフォルト: 50]		
プロジェクター設定	自動フォーカス				
	手動フォーカス			左	
				右	
	自動フォーカス校正				
	自動キーストン			オン	
				オフ [デフォルト]	
	キーストン			-40 ~ 40 [デフォルト: 0]	
	電源設定	電源検知オートパワーオン			オン
					オフ [デフォルト]
		自動パワーオフ(分)			オフ ~ 180 (5 分の増分) [デフォルト: 20]
		スリープタイマー (分)			オフ(0) ~ 990 (30 分の増分) [デフォルト: オフ]
		スリープ常時オン			はい
					いいえ [デフォルト]
	電源モード (スタンバイ)			エコ [デフォルト]	
				スマートホーム	
	その他	テストパターン			グリッド (緑)
					グリッド (マゼンタ)
				グリッド (白)	
				白	
設置モード				フロント  [デフォルト]	
				リア 	
				フロント-天井 	
		リア-天井 			

# プロジェクターを使用する

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	値	
プロジェクター設定	その他	EDID 警告		オン [デフォルト]	
				オフ	
		HDMI EDID		2.0 [デフォルト]	
				1.4	
		HDMI1 EQ		-16 ~ -1	
				自動 [デフォルト]	
				1 ~ 16	
		HDMI2 EQ		-16 ~ -1	
				自動 [デフォルト]	
				1 ~ 16	
		HDMI/USB ディスク		通知	
				ソース自動変更 [デフォルト]	
				なし	
		高地モード		オン	
	オフ [デフォルト]				
情報	制御				
	シリアル番号				
	ソース				
	解像度				
	ディスプレイモード				
	ブライトネスモード				
	電源モード (スタンバイ)				
	光源使用時間				
	色深度				
	カラーフォーマット				
	FW バージョン	システム			
		MCU			
		EDID			
システム更新					
全てリセット					

# プロジェクターを使用する

## 映像設定メニュー

### ディスプレイモード

さまざまな映像タイプに合わせて、いくつかのプリセット設定が用意されています。

- **シネマ:** 映画を見るために最適な色を提供します。
- **HDR:** ハイダイナミックレンジ (HDR) コンテンツを復号し、表示し、REC.2020 色範囲で濃い黒、明るい白、映画のように鮮やかな色を再現します。このモードは、HDR が ON に設定されている場合、自動的に有効になります (HDR コンテンツがプロジェクターに送信されます – 4K UHD Blu-ray、1080p/4K UHD HDR ゲーム、4K UHD ストリーミングビデオ)。HDR モードが有効なとき、他の表示モード (映画や参照など) は選択できません。HDR は、他の表示モードの色パフォーマンスを超える、非常に精密な色を再現するからです。
- **HDR SIM.:** ハイダイナミックレンジ (HDR) をシミュレートし、非 HDR コンテンツの画質を上げます。このモードを選択すると、非 HDR コンテンツ (720p および 1080p ブロードキャスト/ケーブル TV、1080p Blu-ray、非 HDR ゲームなど) のガンマ、コントラスト、彩度が高まります。このモードは HDR 以外のコンテンツでのみ利用できます。
- **ゲーム:** ビデオゲームを楽しむために、このモードを選択して、明るさを増やし、応答時間レベルを上げます。
- **リファレンス:** このモードは、映画監督が意図したように、画像をできるだけアップにして再生することを目的としています。カラー、色温度、コントラスト、 $\gamma$ 設定はすべて標準の参照レベルに設定されます。動画を見るにはこのモードを選択します。
- **ブライト:** PC 入力に対する最大輝度。
- **ユーザー:** ユーザー設定を保存します。
- **3D:** 3D 効果を体験するには、3D 眼鏡を用意する必要があります。Blu-ray 3D DVD プレーヤーがインストールされていることを確認します。
- **ISF Day:** 画像を完璧に校正できるように ISF Day モードで、また高いピクチャー品質で最適化します。
- **ISF Night:** 画像を完璧に校正できるように ISF Night モードで、また高いピクチャー品質で最適化します。

**注記:** ISF 日中/夜間表示モードの調整方法については、お近くの販売店にお問い合わせください。

### ダイナミック範囲

4K Blu-ray プレーヤーおよびストリーミングデバイスからビデオを表示するとき、高ダイナミック範囲 (HDR) 設定およびその効果を構成します。

#### ▶ HDR

- **自動:** HDR 信号を自動検出します。
- **オフ:** HDR 処理をオフに切り替えます。オフに設定すると、プロジェクターは HDR コンテンツを復号しません。

#### ▶ HDR ピクチャモード

- **ブライト:** このモードを選択すると、より飽和した色が再現されます。
- **標準:** このモードを選択すると、色調の暖かさと冷たさのバランスが取れた、自然な色を再現します。
- **フィルム:** このモードを選択すると、細部が改善され、画像が鮮明になります。
- **詳細:** このモードを選択すると、暗いシーンで細部が改善され、画像が鮮明になります。

### 輝度

画像の輝度を調整します。

### コントラスト

コントラストは、画像や画像の最暗部 (黒) と最明部 (白) の差の度合いを調整します。

# プロジェクターを使用する

## シャープネス

画像のシャープネスを調整します。

## 色

ビデオ画像を、白黒から完全飽和色まで調整します。

## 色あい

赤と緑のカラーバランスを調整します。

## ガンマ

γカーブタイプを設定します。初期セットアップと微調整が完了したら、γ調整ステップを利用して画像出力を最適化します。

- **フィルム:** ホームシアター用。
- **ビデオ:** ビデオまたは TV ソース用。
- **グラフィック:** PC/フォトソース用。
- **標準 (2.2):** 標準化された設定用。
- **1.8 / 2.0 / 2.4:** 特定の PC/フォトソース用。

**注記:** これらのオプションは、3D モード機能が無効の場合にのみ使用できます。3D モードでは、ガンマ設定に対して、3D のみを選択できます。

## 色設定

色設定を行います。

- **色温度:** [標準]、[Cool] または [Cold] から色温度を選択します。
- **カラースペース**以下から適切なカラーマトリックスタイプを選択します: 自動、RGB (0~255)、RGB (16~235)、YUV (0~255)、および YUV (16~235)。
- **カラーマッチング:** 赤、緑、青、シアン、黄、マゼンダ、または白色の色あい、彩度およびゲインを調整します。
- **RGB ゲイン/バイアス:** この設定でイメージの輝度 (ゲイン) とコントラスト (バイアス) を構成できます。

## ブライトネスモード

ブライトネスモード設定を選択します。

## デジタルズーム

スクリーンに投影される画像を縮小または拡大するために使用します。

## アスペクト比

表示される画像のアスペクト比を選択します。

- **4:3:** このフォーマットは、4:3 入力ソース用です。
- **16:9:** ワイドスクリーンテレビのために用意される高画質のHDTVやDVDのような 16:9 入力用です。
- **ネイティブ:** このフォーマットは、スケーリングなしでオリジナルの画像を表示します。
- **自動:** 適切なディスプレイフォーマットを自動的に選択します。

# プロジェクターを使用する

## 4K UHD スケーリングテーブル:

16:9 画面	480i/p	576i/p	720p	1080i/p	2160p
4x3	2880 x 2160 に調整します。				
16x9	3840 x 2160 に調整します。				
ネイティブ	1:1 中央にマッピング。 サイズ変更は行われません。表示される解像度は、入力ソースに依存します。				
自動	- ソースが 4:3 である場合、画面タイプは自動的に 2880 x 2160 にサイズ変更されます。 - ソースが 16:9 である場合、画面タイプは自動的に 3840 x 2160 にサイズ変更されます。 - ソースが 15:9 である場合、画面タイプは自動的に 3600 x 2160 にサイズ変更されます。 - ソースが 16:10 である場合、画面タイプは自動的に 3456 x 2160 にサイズ変更されます。				

## 自動マッピングルール:

	入力解像度		自動/拡大縮小	
	水平解像度	垂直解像度	3840	2160
4:3	640	480	2880	2160
	800	600	2880	2160
	1024	768	2880	2160
	1280	1024	2880	2160
	1400	1050	2880	2160
	1600	1200	2880	2160
ワイド ラップトップ	1280	720	3840	2160
	1280	768	3600	2160
	1280	800	3456	2160
SDTV	720	576	2700	2160
	720	480	3240	2160
HDTV	1280	720	3840	2160
	1920	1080	3840	2160

## ピュアモーション

表示される画像の自然な動きを保持するために使用します。

## リセット

色設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

# プロジェクターを使用する

## 3D 設定メニュー

**注記:** 最大解像度は 1080P です (4K 解像度はサポートされません)。

### 3D モード

このオプションを使って、3D モード機能を有効/無効にします。

### 3D 映像フォーマット

このオプションを使って、適切な 3D フォーマットのコンテンツを選択します。

- **自動:** 3D 識別信号を検出すると、3D 映像フォーマットが自動的に選択されます。
- **サイド バイ サイド:** [サイドバイサイド] フォーマットで 3D 信号を表示します。
- **トップ アンド ボトム:** 3D 信号を「トップ アンド ボトム」フォーマットで表示します。
- **フレームパッキング:** 3D 信号を「フレームパッキング」フォーマットで表示します。

### 3D 同期反転

このオプションを使って、3D 同期反転機能を有効/無効にします。

## 音声設定メニュー

### 内蔵スピーカー

内蔵スピーカーの [オン] または [オフ] を切り替えるには、[オン] または [オフ] を選択します。

### サウンド効果

サウンド効果を選択します。

### オーディオ出力

オーディオ出力機能をオンまたはオフにします。

### SPIDF

SPIDF オーディオ出力形式を選択します。

### ミュート

このオプションを使って、一時的に音声をオフに切り替えます。

- **オン:** [オン] を選択して、ミュートをオンに切り替えます。
- **オフ:** [オフ] を選択して、ミュートをオフに切り替えます。

**注記:** [ミュート] 機能は、内蔵および外付けスピーカーの音量に影響を与えます。

### 音量

オーディオ音量レベルを調整します。

## プロジェクター設定メニュー

### 自動フォーカス

自動フォーカス調整を実行します。

**注記:** 自動フォーカス範囲は、0.8m ~ 2m ±10% です。投射距離が指定範囲内でない場合は、手動フォーカス調整を実行して、投射画像のフォーカスを合わせる必要があります。

### 手動フォーカス

フォーカスを手動で調整します。

# プロジェクターを使用する

## 自動フォーカス校正

レンズフォーカス校正を実行します。

**注記:** この機能は、**自動フォーカス** 設定がオンになっている場合のみ利用可能です。

## 自動キーストン

プロジェクターを斜め方向から投射することにより生じる画像のゆがみを自動的に調整します。

## キーストン

プロジェクターを斜め方向から投射することにより生じる、画像のゆがみを調整します。

## 電源設定

- **電源検知オートパワーオン:** [オン] を選択すると、電源検知オートパワーオンモードが有効になります。プロジェクターは、AC 電源が供給されると自動的に電源オンになります。プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの [電源] キーを押す必要はありません。
- **自動パワーオフ(分):** カウントダウンタイマーの時間を設定します。カウントダウンタイマーは、プロジェクターへの入力信号が途切れると、カウントダウンを開始します。カウントダウンが終了すると、自動的にプロジェクターの電源が切れます (単位は分です)。
- **スリープタイマー (分):** カウントダウンタイマーの時間を設定します。カウントダウンタイマーは、プロジェクターへの入力信号の有無に関わらず、カウントダウンを開始します。カウントダウンが終了すると、自動的にプロジェクターの電源が切れます (単位は分です)。
- **スリープ常時オン:** [オン] を選択し、スリープタイマーを常のオンに設定します。
- **電源モード (スタンバイ):** 電源モードを設定します。
  - **エコ:** [エコ] を選択すると、節電モードになります (< 0.5W)。
  - **スマートホーム:** [スマートホーム] を選択して、ノーマルスタンバイ (LAN オン、Wi-Fi オン) に戻ります。

## その他

- **テストパターン:** グリッド (緑)、グリッド (マゼンタ)、グリッド (白)、または 白 からテストパターンを選択します。
- **設置モード:** お好みの投射をフロント、リア、フロント-天井、およびリア-天井の間から選択します。
- **EDID 警告:** [オン] を選択すると、入力ソース HDMI に変更するとき、警告メッセージが表示されます。
- **HDMI EDID:** HDMI EDID タイプを 2.0 または 1.4 から選択します。

**注記:** 異常な色の問題が発生した場合は、EDID 設定を調整してください。
- **HDMI1 EQ:** HDMI1 に対する HDMI ポート EQ 値を設定します。
- **HDMI2 EQ:** HDMI2 に対する HDMI ポート EQ 値を設定します。

**注記:**

  - HDMI EQ は信号データを分析し、長い HDMI ケーブルを使用すると信号が失われることで発生する歪みをなくします。HDMI レシーバーにはタイミング調整回路も含まれています。これはタイミングのずれをなくし、HDMI 信号を最適な送信レベルに戻します。
  - Optoma は、プレミアム認定 HDMI ケーブルの使用を推奨しています。
  - Optoma は、最大5メートルのプレミアム認定 HDMI ケーブルに対して、動作安定性を保証します。
- **HDMI/USB ディスク:** 入力ソース (HDMI/USB フラッシュドライブ) の 1 つがプロジェクターに接続されているとき、システムがどのように反応するかを定義します。
  - **通知:** [通知] を選択して、入力ソースが検出されたときに入力切り替え確認メッセージを表示します。
  - **ソース自動変更:** [ソース自動変更] を選択して、現在検出されている入力ソースに自動的に切り替えます。
  - **なし:** [なし] を選択して、手動で入力ソースを切り替えます。
- **高地モード:** [オン] が選択されると、ファンがより高速に回転します。この機能は、高度が高く、空気の濃度が低い環境に便利です。

# プロジェクターを使用する

## 情報メニュー

以下のプロジェクター情報を表示します:

- 制御
- シリアル番号
- ソース
- 解像度
- ディスプレーモード
- ブライトネスモード
- 電源モード (スタンバイ)
- 光源使用時間
- 色深度
- カラーフォーマット
- FW バージョン

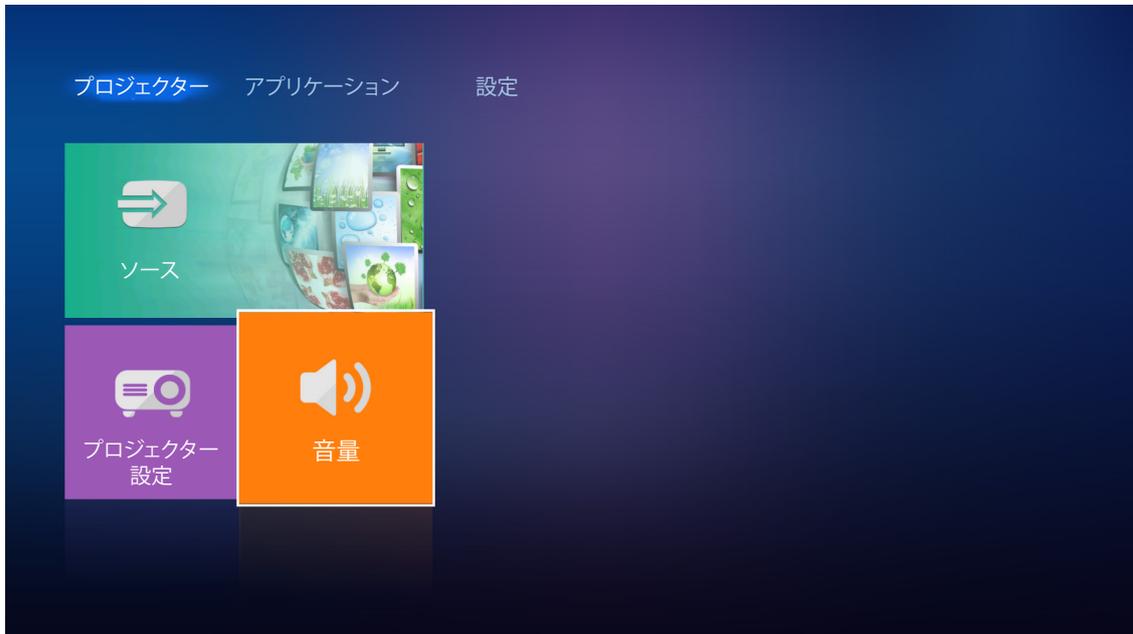
# プロジェクターを使用する

## 全メニューのリセット

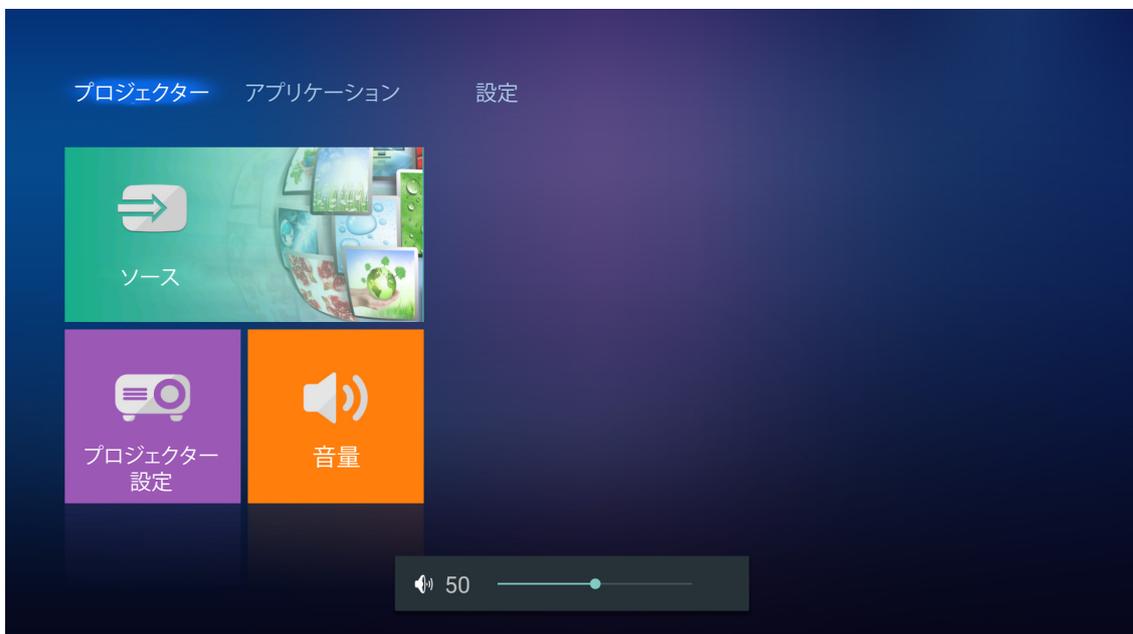
すべての設定を工場出荷時の初期設定に戻します。

## 音量レベルの調整

音量を選択して、オーディオ音量レベルを調整します。次に、リモコンの **[Enter]** を押して、**音量** メニューに入ります。



◀▶ キーを使用して、希望の音量レベルを調整します。



**注記:** ミュート機能を有効にするには、音量レベルを 0 に設定します。

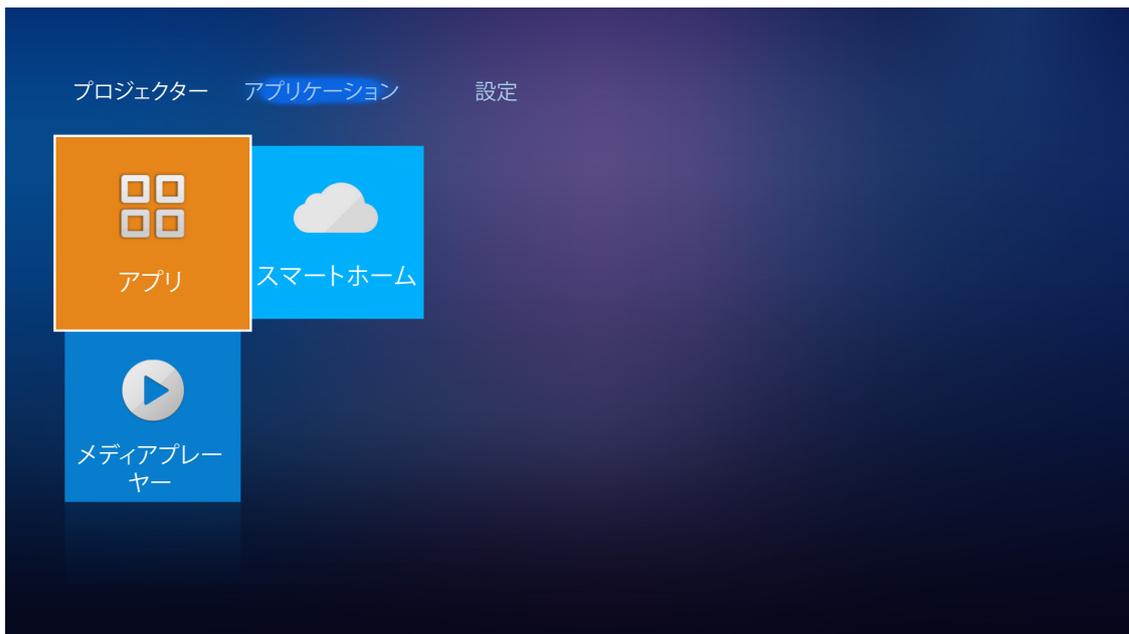
# プロジェクターを使用する

## アプリケーション設定

アプリケーションホーム画面で、アプリリストにアクセスしたり、プロジェクターを Device Cloud に登録したり、マルチメディアファイルを表示したりすることができます。アプリケーションホーム画面に切り替えるには、メインカテゴリの 1 つを選択し、◀▶ キーを使用して、アプリケーションを選択します。

## すべてのアプリにアクセスする

アプリ を選択して、アプリリストを表示します。次に、リモコンの [Enter] を押して、アプリ メニューに入ります。



◀▶ キーを使用して、希望のアプリケーションを選択します。次に、リモコンの [Enter] を押して、選択されたアプリケーションを起動します。



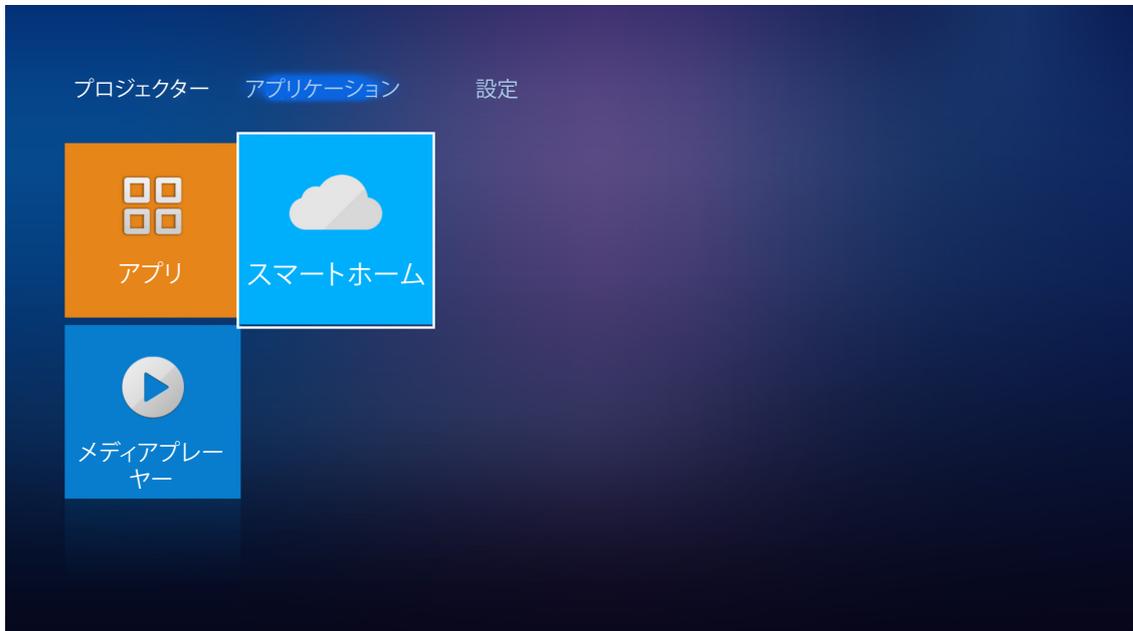
**メディアプレーヤー** アプリに関する詳細については、「マルチメディアファイルを再生する」のセクション (42 ページ) を参照してください。

**スマートホーム** に関する詳細については、「プロジェクターを Device Cloud に登録する」のセクション (70 ページ) を参照してください。

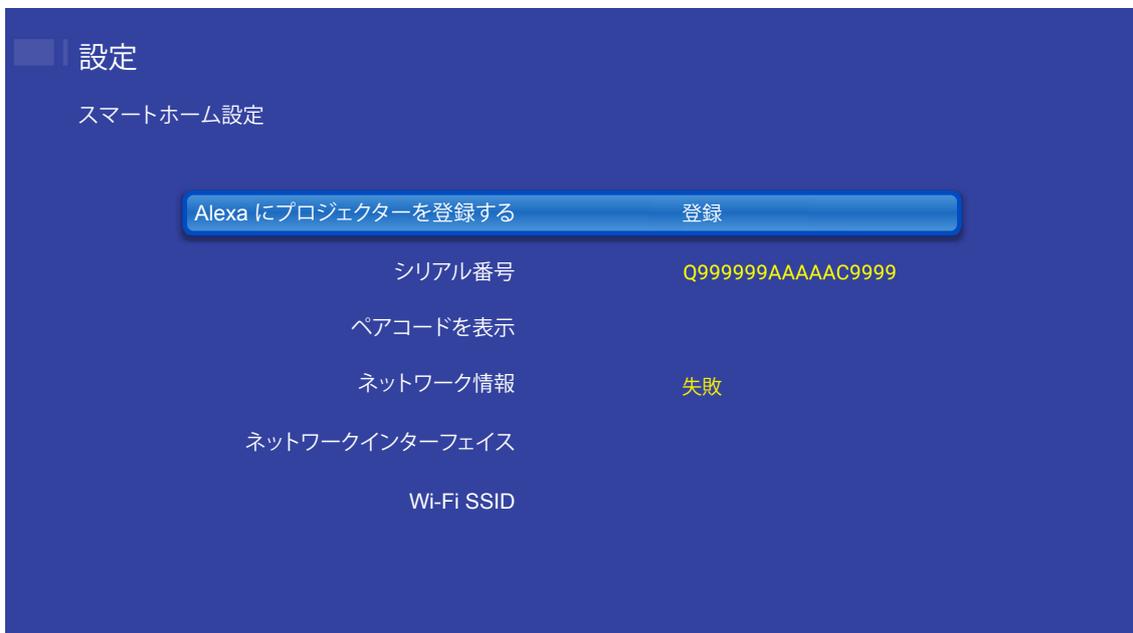
# プロジェクターを使用する

## プロジェクターを Device Cloud に登録する

スマートホーム を選択して、プロジェクターを Device Cloud に登録します。次に、リモコンの **[Enter]** を押して、スマートホーム メニューに入ります。



現在の設定パラメーターが、画面に表示されます。プロジェクターを Device Cloud に登録する場合は、70 ページを参照してください。



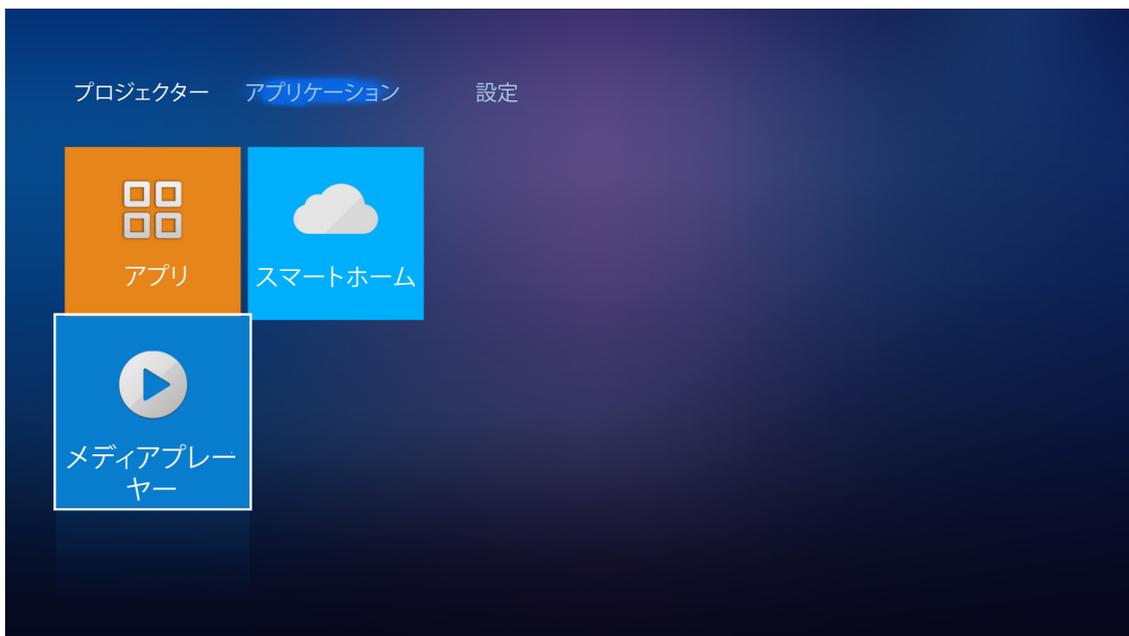
# プロジェクターを使用する

## マルチメディアファイルを再生する

プロジェクターに接続した後、メディアプレーヤーを選択して、USB フラッシュドライブに保存されたマルチメディアファイルを参照します。

### 注記:

- USB フォーマットは、FAT および FAT32 上でのみサポートされます。
- USB フラッシュドライブの最大サイズは 64GB (NTFS) です。



## マルチメディアサポートフォーマット

### ビデオ

ファイルフォーマット	ビデオフォーマット	デコード最大解像度	最大ビットレート (Kbps)	プロファイル
MPG, MPEG	MPEG1/2	1920 x 1080 60fps	40M bps	MP@HP
MOV, MP4, MKV	H.264	4096 x 2176 30fps	135M bps	MP/HP @ レベル 5.1
AVI, MOV, MP4	MPEG4	1920 x 1080 60fps	40M bps	SP/ASP @ レベル 5.1
AVI, MP4, MOV, MKV	MJPEG	1920 x 1080 30fps	10M bps	ベースライン
WMV, ASF	VC-1	1920 x 1080 60fps	40M bps	SP/MP/AP
3GP, MP4, AVI, MOV	H.263	1920 x 1080 60fps	40M bps	
MP4, MOV, MKV	HEVC/H.265	4096 x 2176 60fps	100M bps	メイン/メイン 10 プロファイル、ハイティア @ レベル 5.1
MKV	VP8	1920 x 1080 60fps	20M bps	
	VP9	4096 x 2176 60fps	100M bps	プロファイル 0、2
MP4, MOV, TS, TRP, TP	AVS	1920 x 1080 60fps	40M bps	Jizhun プロファイル @ レベル 6.0

# プロジェクターを使用する

## 画像

イメージタイプ (Ext 名)	サブタイプ	最大ピクセル
Jpeg / Jpg	ベースライン	8000 x 8000
	プログレッシブ	6000 x 4000
PNG	ノンインターレース	6000 x 4000
	インターレース	6000 x 4000
BMP		6000 x 4000

## 音楽

音楽タイプ (Ext 名)	サンプルレート (KHz)	ビットレート (Kbps)
MP3	16~48	8~320
WMA	8~48	128~320
ADPCM-WAV	8~48	32~384
PCM-WAV	8~48	64~1536
AAC	8~48	8~48

## 文書

文書フォーマット	サポートバージョンおよびフォーマット	ページ行制限	サイズ制限
PDF	PDF 1.0 ~ 1.7 およびそれ以降	最大 1500 ページ (1 つのファイル)	最大 100MB
Word	Kingsoft Writer 文書 (*.wps) Kingsoft Writer テンプレート (*.wpt) Microsoft Word 97/2000/XP/2003 文書 (*.doc) Microsoft Word 97/2000/XP/2003 テンプレート (*.dot) RTF ファイル (*.rtf) テキストファイル (*.txt, *.log, *.lrc, *.c, *.cpp, *.h, *.asm, *.s, *.java, *.asp, *.prg, *.bat, *.bas, *.cmd) Web ページファイル (*.html, *.htm) シングル Web ページファイル (*.mht, *.mhtml) Microsoft Word 2007/2010 文書 (*.docx) Microsoft Word 2007/2010 テンプレート (*.dotx) Microsoft Word 2007/2010 マクロ有効文書 (*.docm) Microsoft Word 2007/2010 マクロ有効テンプレート (*.dotm) XML ファイル (*.xml) OpenDocument テキスト Works 6-9 文書 (*.wtf) Works 6.0&7.0 (*.wps)	WPS Projector は、一度に MS/Word ファイルを読み込まないので、ファイルのページ数と行数に明らかな制限はありません。	最大 150MB

# プロジェクトターを使用する

文書フォーマット	サポートバージョンおよびフォーマット	ページ/行制限	サイズ制限
Excel	Kingsoft スプレッドシートファイル (*.et)	行制限: 最大 65,535 列制限: 最大 256 シート: 最大 200	最大 30MB
	Kingsoft スプレッドシートテンプレート (*.ett)		
	Microsoft Excel 97/2000/XP/2003 ワークブック (*.xls)		
	Microsoft Excel 97/2000/XP/2003 テンプレート (*.xlt)		
	テキストファイル (*.csv)		
	Web ページ (*.htm, *.html)		
	XML ファイル (*.xml)		
	Microsoft Excel 2007/2010 ファイル (*.xlsx, *.xlsm)		
	Microsoft Excel 2007/2010 テンプレート (*.xltx)		
	Microsoft Excel 2007/2010 バイナリワークブック (*.xlsb)		
PowerPoint	Kingsoft プレゼンテーションファイル (*.dps)	最大 1500 ページ (1 つのファイル)	最大 30MB
	Kingsoft プレゼンテーションテンプレート (*.dpt)		
	Microsoft PowerPoint 97/2000/XP/2003 プレゼンテーション (*.ppt, *.pps)		
	Microsoft PowerPoint 97/2000/XP/2003 プレゼンテーションテンプレート (*.pot)		
	Microsoft PowerPoint 2007/2010 プレゼンテーション (*.pptx, *.ppsx)		
	Microsoft PowerPoint 2007/2010 プレゼンテーションテンプレート (*.potx)		

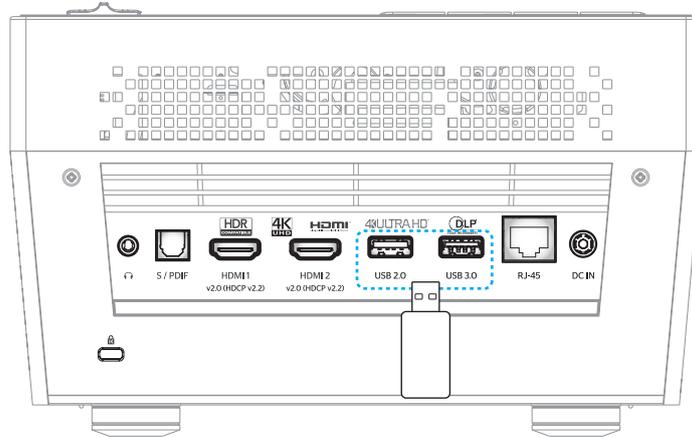
## 注記:

- 複雑な内容の大きなファイルの場合は、デコードに時間がかかることがあります。
- ファイルに埋め込まれたオブジェクトをアクティブ化または表示することはできません。
- *Microsoft Word* の場合
  - 描画プラグインまたは表の背景設定などの高度な設定はサポートされていません。
  - *Microsoft Word*の定義された枠外の内容は表示されません。
  - 簡体字中国語フォントでの太字テキストをサポートしていません。
- *Microsoft PowerPoint* の場合
  - スライド効果はサポートされていません。
  - パスワードで保護されたシートは保護されません。
  - *Powerpoint* アニメーションはサポートされません。
- *Microsoft Excel* の場合
  - ワークブックに複数のワークシートがある場合、ワークシートは個別かつ順番に表示されます。
  - ページのレイアウトと番号は、デコード中に変更されることがあります。

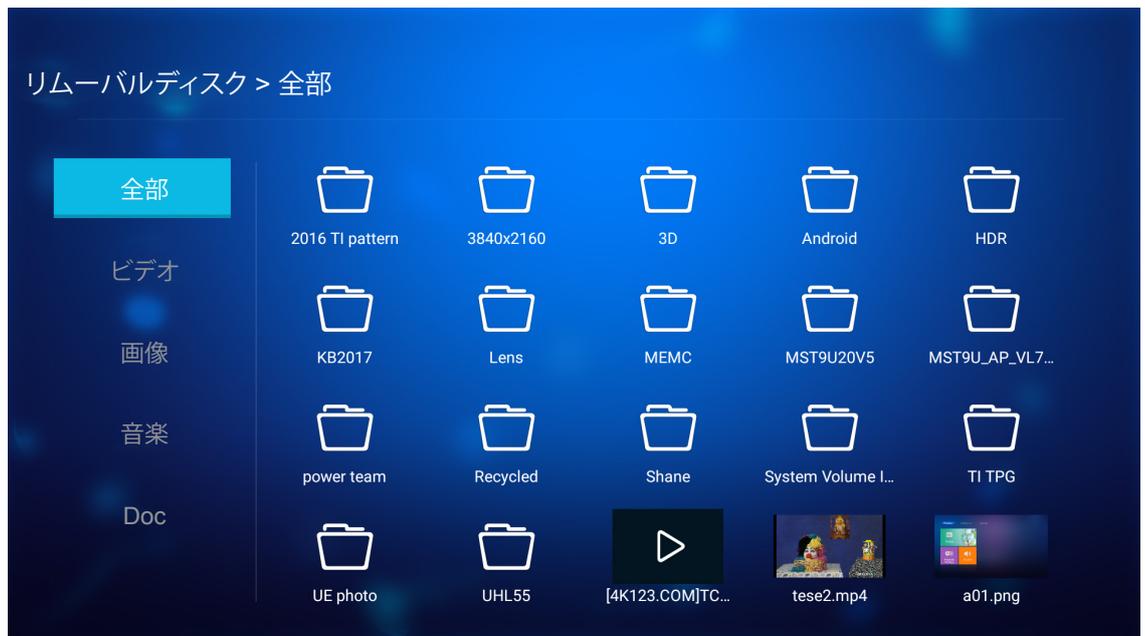
# プロジェクターを使用する

## マルチメディアモードに入る

1. プロジェクターの背面にある USB コネクタに USB フラッシュドライブを挿入します。



利用可能なファイルが画面に表示されます。



**注記:** 手動でマルチメディアモードに入るには、**アプリケーション > メディアプレーヤー**を選択します。

2. ファイルを参照し、表示するファイルを選択します。

# プロジェクターを使用する

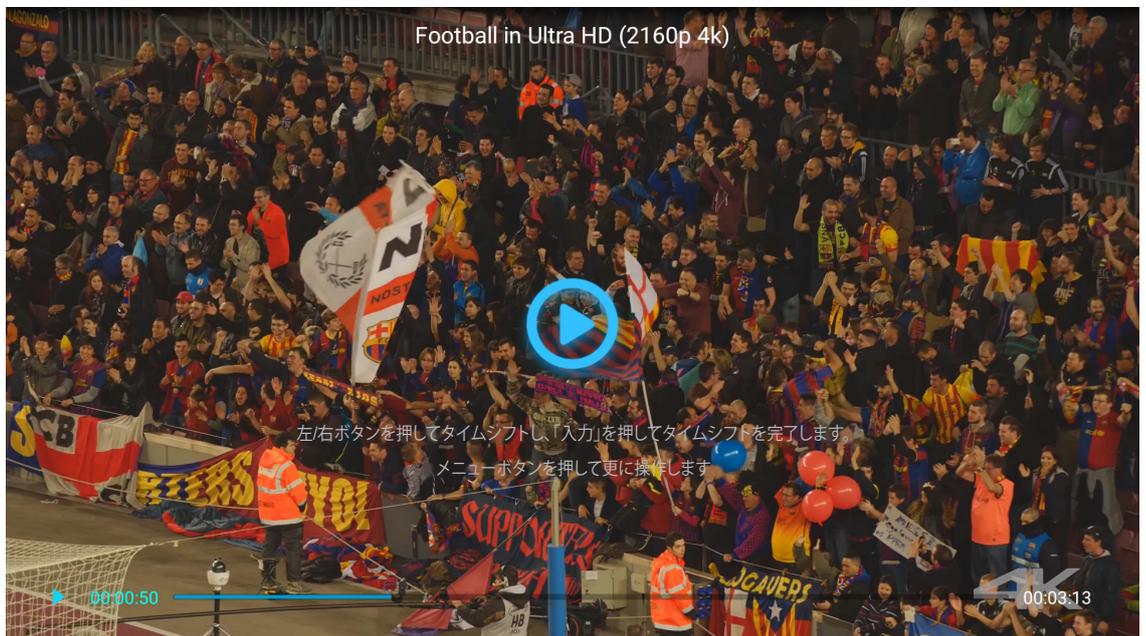
## ビデオを再生する

1. 左パネルで、**ビデオ**を選択して、全ビデオファイルを参照します。



複数のフォルダがある場合は、▲▼◀▶ キーを押して、希望のフォルダを選択し、次に **[Enter]** を押して、サブフォルダの内容を表示します。

- ↑↓ ▲▼◀▶ キーを押して、再生するビデオを選択し、次に、**[Enter]** を押して、再生を開始します。



- **[Enter]** を押して、再生を一時停止します。ビデオを一時停止している間:
  - ◀▶ キーを押して、ビデオを巻き戻しまたは早送りします。
  - 再開するには、**[Enter]** を押します。
- 音量レベルを調整するには、プロジェクターのキーパッドの **[+]/[-]** ボタンを押します。
- 次の/前のビデオにスキップするには、プロジェクターのキーパッドの **[+]/[-]** ボタンを長押しします。
- 再生を停止するには、いつでも、◀ を押します。

# プロジェクトターを使用する

## フォトを表示する

1. 左パネルで、**画像**を選択して、全画像ファイルを参照します。



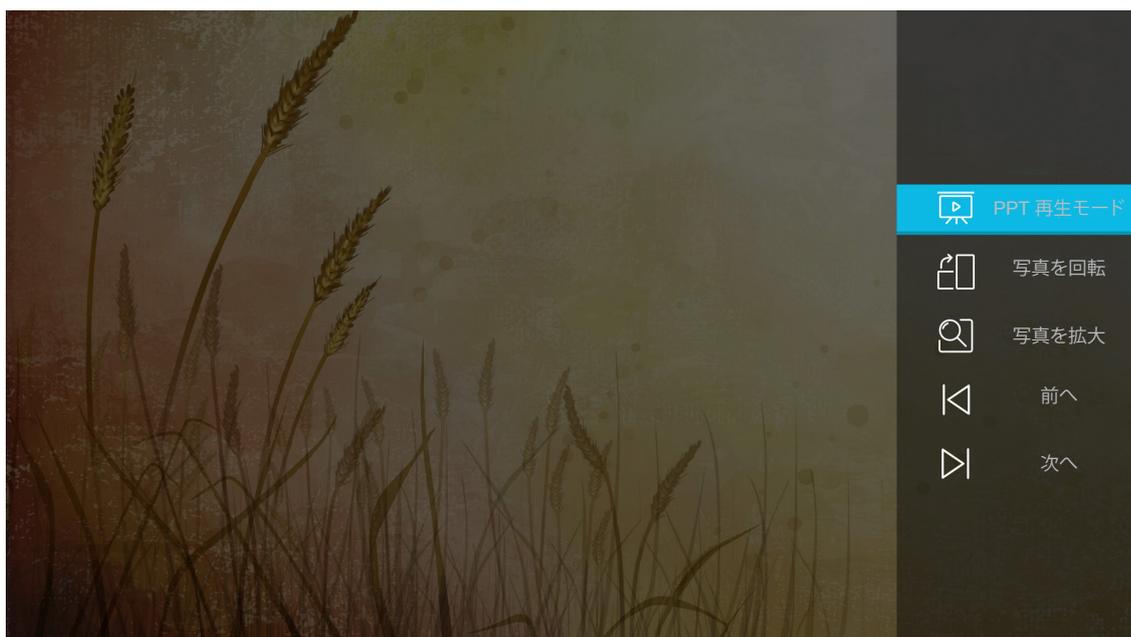
複数のフォルダがある場合は、▲▼◀▶ キーを押して、希望のフォルダを選択し、次に **[Enter]** を押して、サブフォルダの内容を表示します。

- ↑↓ ▲▼◀▶ キーを押して、フォトを選択し、次に、**[Enter]** を押して、フォトを全画面表示します。

## フォトオプション

フォトを全画面表示している間:

- ◀▶ キーを使用して、前または次のフォトを表示します。
- **[Enter]** を押して、クイックメニューにアクセスします。



- **PPT 再生モード**を選択して、スライドショー設定を構成します。
- **写真を回転**を選択して、フォトを時計回りに 90 度回転します。

# プロジェクターを使用する

- 写真を拡大を選択して、フォトの表示を拡大します。
- 前へを選択して、前のフォトを表示します。
- 次へを選択して、次のフォトを表示します。

## スライドショー設定



### モード

スライドショーモードのオプションを設定します。

### トランジッション

各スライド表示の間のトランジッション効果を選択します。

### タイミング

各スライド表示の間の時間間隔を設定します。

### スライドショー

選択して、スライドショーを開始します。

#### 注記:

- スライドショーを一時停止するには、[Enter] を押します。
- スライドショーを停止するには、↩ を押します。

# プロジェクターを使用する

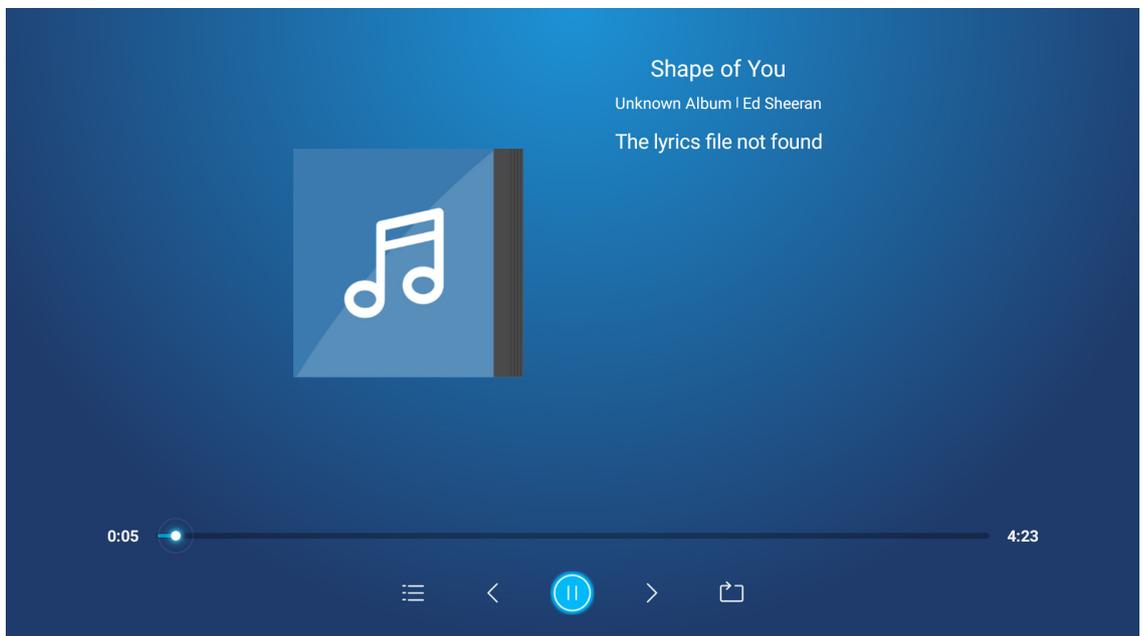
## 音楽を再生する

1. 左パネルで、**音楽**を選択して、全て曲またはオーディオファイルを参照します。



複数のフォルダがある場合は、▲▼◀▶ キーを押して、希望のフォルダを選択し、次に **[Enter]** を押して、サブフォルダの内容を表示します。

2. ▲▼◀▶ キーを押して、再生する曲を選択し、次に、**[Enter]** を押して、再生を開始します。

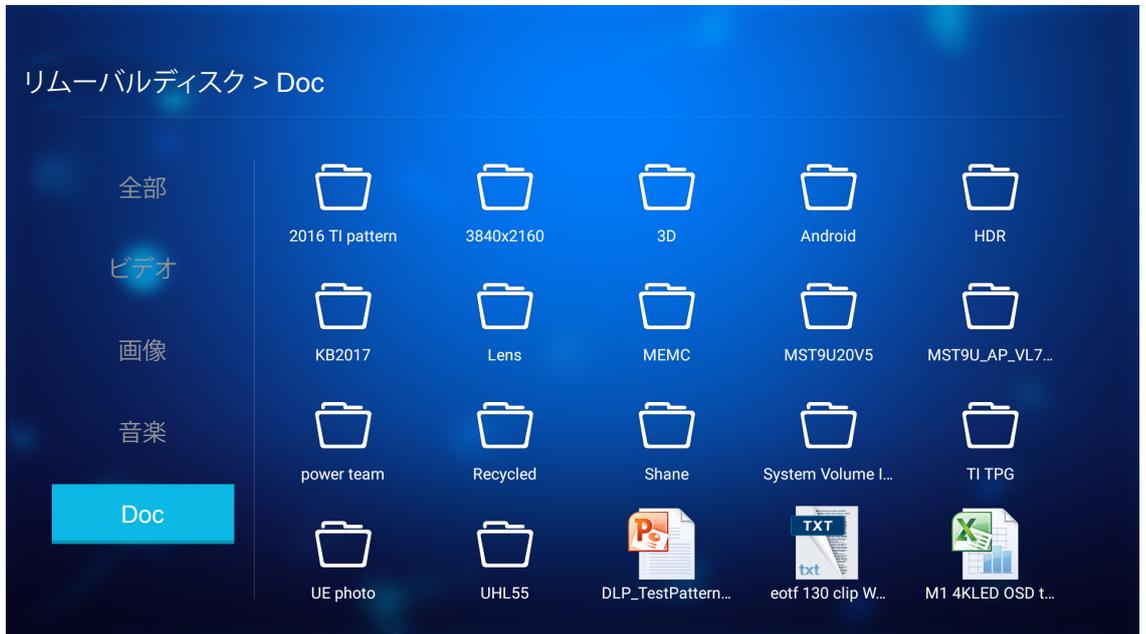


- 再生を一時停止するには、⏸ を選択し、**[Enter]** を押します。再開するには、▶ を選択し、**[Enter]** を押します。
- 前/次のトラックにスキップするには、◀/> を選択し、**[Enter]** を押します。  
**注記:** また、プロジェクターのキーパッドの **[+]/[-]** ボタンを長押しして、曲を変更できます。
- 音量レベルを調整するには、プロジェクターのキーパッドの **[+]/[-]** ボタンを押します。
- 再生モードを切り替えるには、🔊 を選択し、**[Enter]** を繰り返し押して、希望のモードを選択します。
- 再生リストを表示するには、☰ を選択し、**[Enter]** を押します。
- 再生を停止するには、いつでも、⏮ を押します。

# プロジェクターを使用する

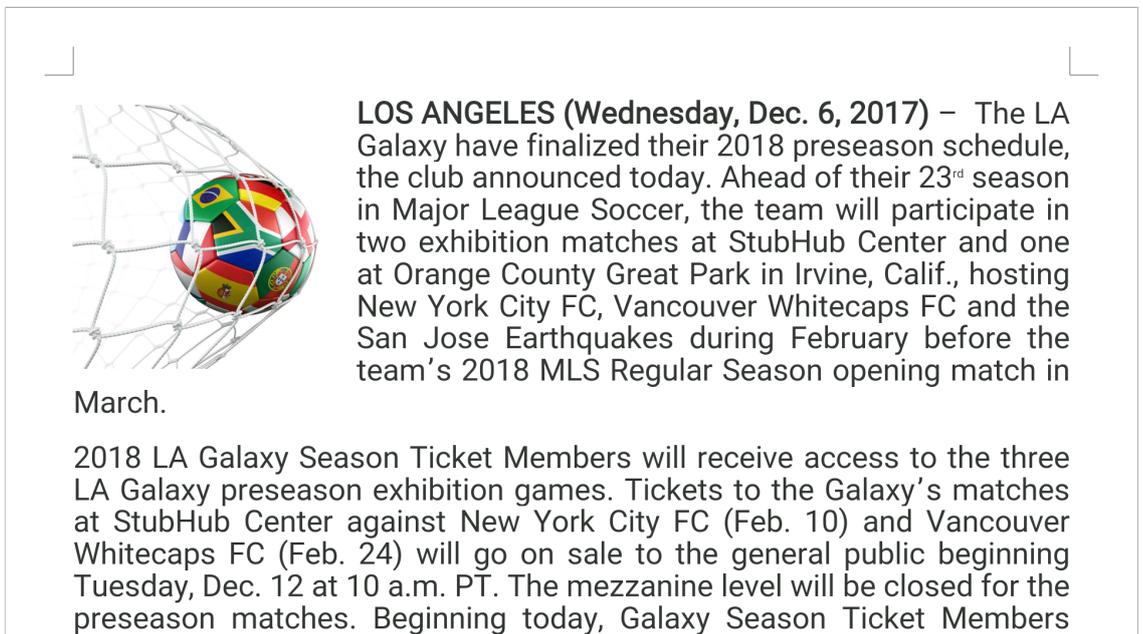
## 文書を表示する

1. 左パネルで、**Doc**を選択して、全文書ファイルを参照します。



複数のフォルダがある場合は、▲▼◀▶ キーを押して、希望のフォルダを選択し、次に **[Enter]** を押して、サブフォルダの内容を表示します。

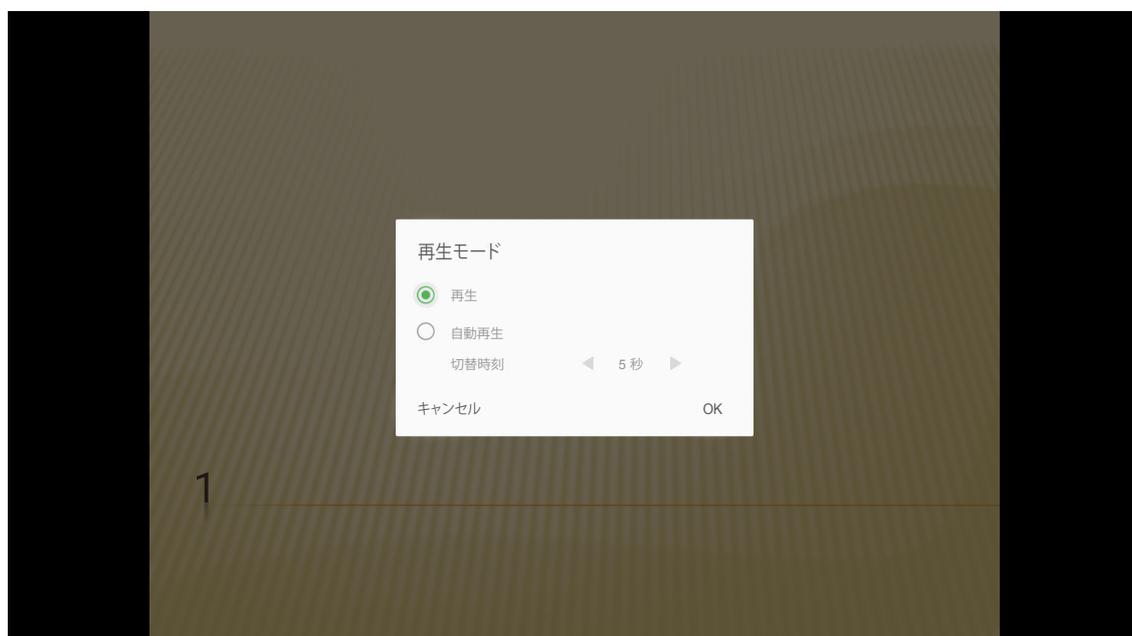
- ↑↓ ▲▼◀▶ キーを押して、表示する文書を選択し、次に、**[Enter]** を押して、ファイルを開きます。



- ▲▼◀▶ キーを押して、ページを上/下にスクロールする、または、ページをナビゲートします。
- 文書を閉じるには、いつでも、↵ を押します。

# プロジェクターを使用する

**注記:** Powerpoint ファイルを開いているときは、[再生モード]メニューが、画面に表示されます。次に、希望の再生モードを選択し、OK を選択して、ファイルの閲覧を開始します。



# プロジェクターを使用する

## 一般設定

**設定** ホーム画面で、オンスクリーンディスプレイ (OSD) 言語を設定し、ファームウェアを更新し、ネットワークおよびタイムゾーン設定を構成することができます。**設定** ホーム画面に切り替えるには、メインカテゴリの 1 つを選択し、◀▶ キーを使用して、**設定** を選択します。

## OSD 言語の変更

**言語** を選択して、オンスクリーンディスプレイ言語を設定します。次に、リモコンの **[Enter]** を押して、**言語** メニューに入ります。



利用可能な言語が画面に表示されます。希望の言語を選択し、**[Enter]** を押して、選択を確認します。



# プロジェクターを使用する

## プロジェクターのファームウェアを更新する

ファームウェア更新 を選択して、ファームウェアを更新します。次に、リモコンの **[Enter]** を押して、ファームウェア更新メニューに入ります。

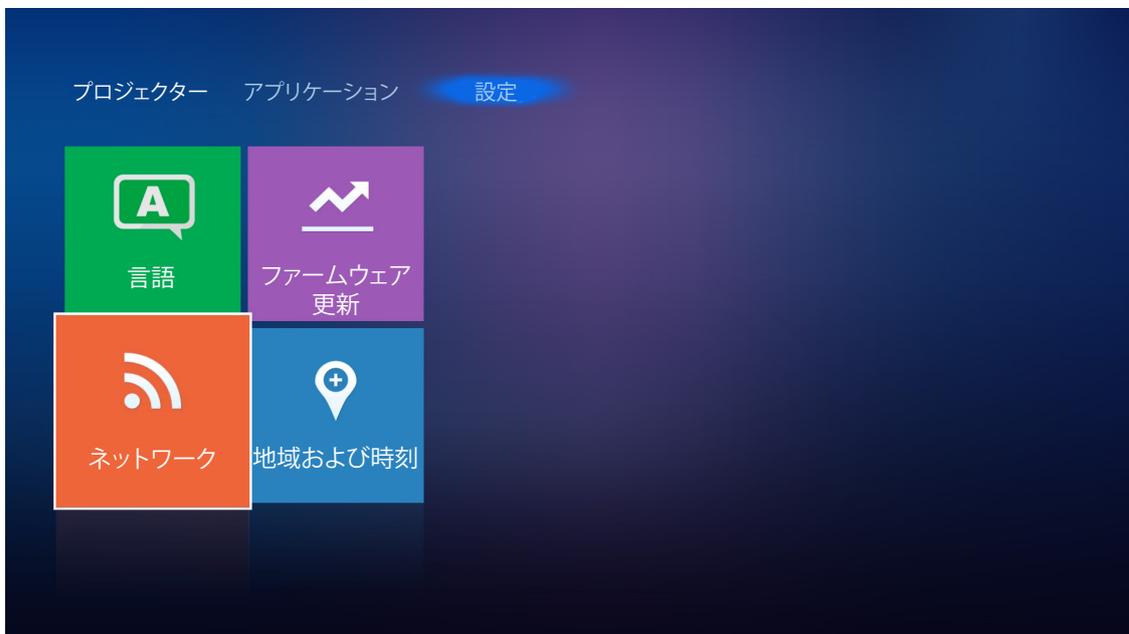


利用可能なオプションのいずれかを選択し、**[Enter]** を押して、選択を確認します。

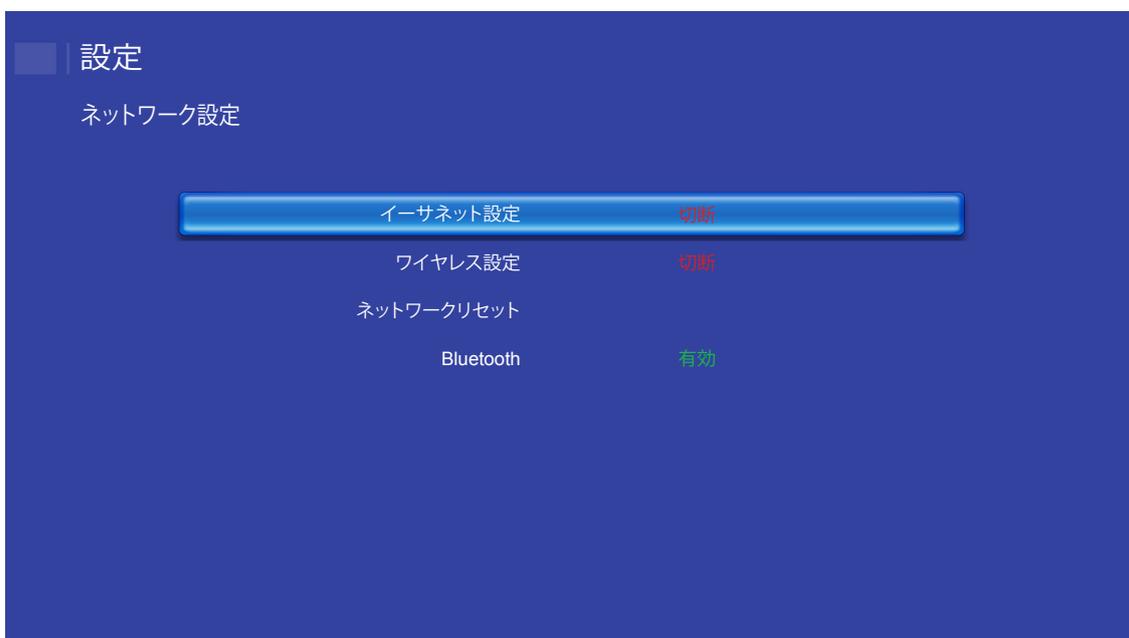
# プロジェクターを使用する

## ネットワーク設定の構成

ネットワークを選択して、ネットワーク設定を構成します。次に、リモコンの **[Enter]** を押して、ネットワークメニューに入ります。



利用可能なオプションのいずれかを選択し、必要な設定を実行します。



# プロジェクターを使用する

## イーサネット設定

ネットワークパラメーターを構成します。



有線ネットワーク設定を手動で構成するには、**DHCP** 設定を **手動** に設定し、次の接続パラメーターを入力します：

- IP アドレス: 192.168.0.100
- サブネットマスク: 255.255.255.0
- ゲートウェイ: 192.168.0.254
- DNS: 192.168.0.51

**注記:** システムの有線ネットワーク設定を自動的に構成させることを強く推奨します (DHCP 設定を [自動] に設定せず)。

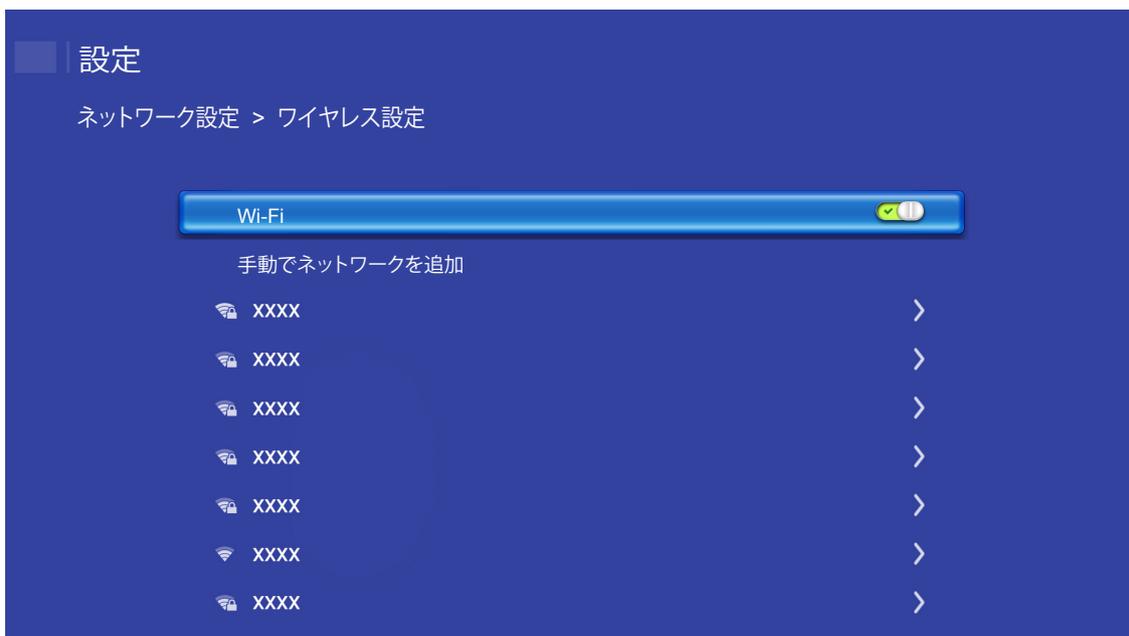
# プロジェクターを使用する

## ワイヤレス設定

無線接続を構成します。

プロジェクターを Wi-Fi ネットワークに接続するには、以下を行います：

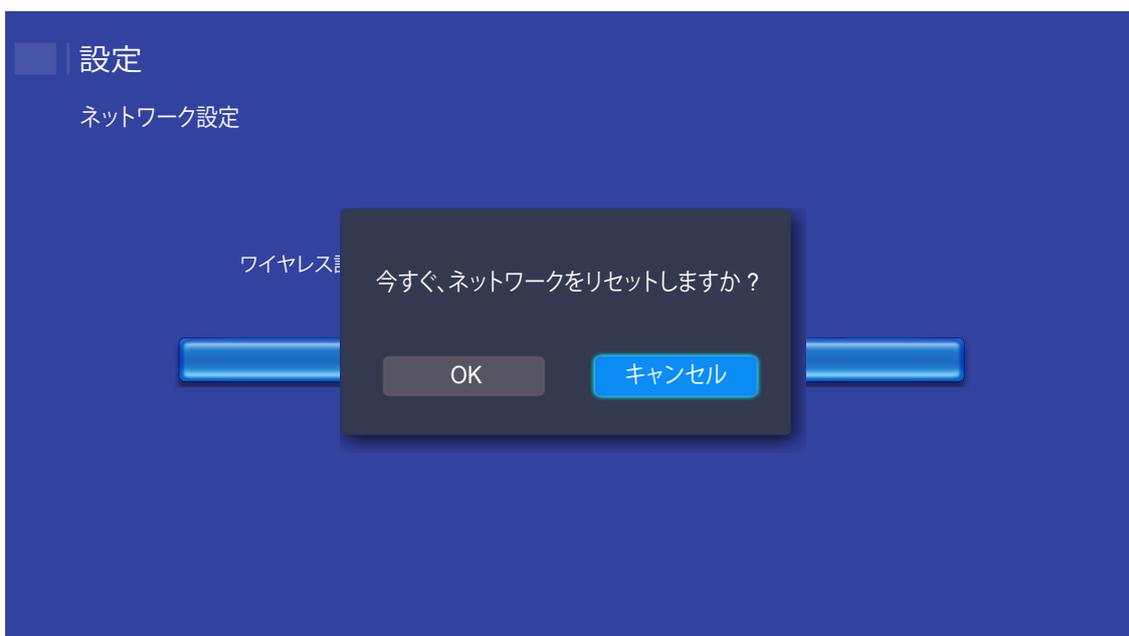
1. **設定 > ネットワーク設定 > ワイヤレス設定** に進みます。次に、**Wi-Fi** 設定をオンに設定します。
2. リストから利用可能な Wi-Fi ネットワークに接続します。  
セキュアな Wi-Fi ネットワークに接続する場合、求められたら、パスワードを入力する必要があります。



## ネットワークリセット

ネットワークパラメーターを工場出荷時デフォルト設定にリセットします。

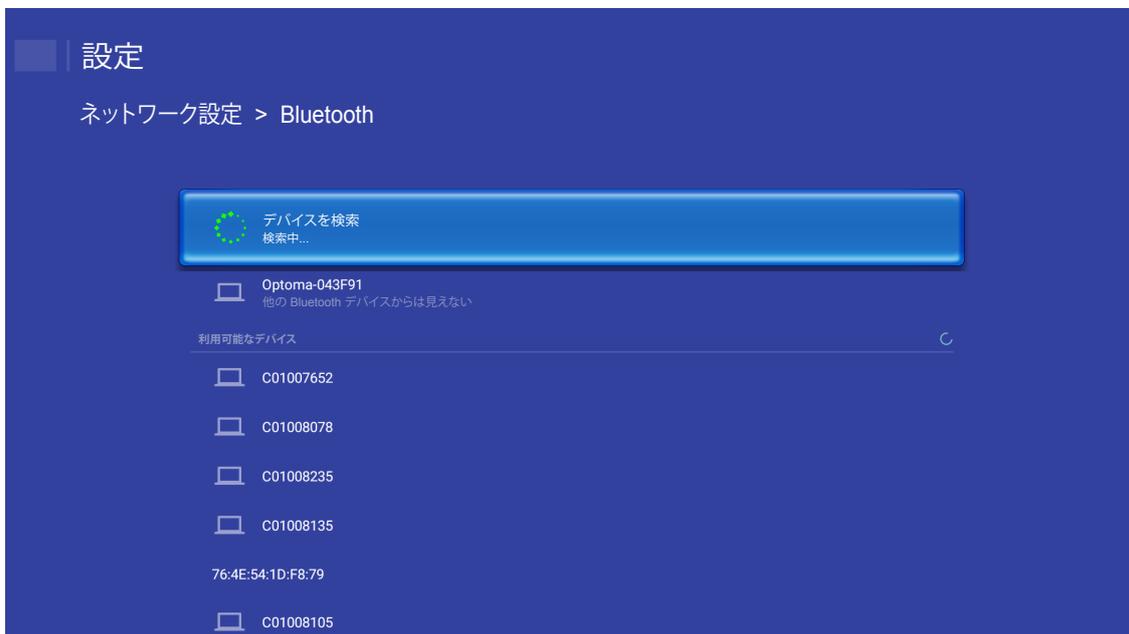
現在のすべてのネットワーク設定をリセットするには、◀▶ キーを使用して、**OK** を選択し、**[Enter]** を押して、確認します。



# プロジェクターを使用する

## Bluetooth

Bluetooth 対応デバイスに接続します。



# プロジェクターを使用する

## タイムゾーンを選択する

地域および時刻を選択して、タイムゾーンを選択します。次に、リモコンの **[Enter]** を押して、**地域および時刻** メニューに入ります。



利用可能なオプションのいずれかを選択し、**[Enter]** を押して、選択を確認します。



# 追加情報

## 対応解像度

### デジタル (HDMI 1.4)

確立されたタイミング	標準タイミング	ディスクリプターの タイミング	サポートされるビデオモード	詳細タイミング
720 x 400 @ 70Hz	1280 x 720 @ 60Hz	1920 x 1080 @ 60Hz (デフォルト)	720 x 480i @ 60Hz 16:9	1920 x 1080p @ 60Hz
640 x 480 @ 60Hz	1280 x 800 @ 60Hz		720 x 480p @ 60Hz 4:3	
640 x 480 @ 67Hz	1280 x 1024 @ 60Hz		720 x 480p @ 60Hz 16:9	
640 x 480 @ 72Hz	1920 x 1200 @ 60Hz (レデュースド)		720 x 576i @ 50Hz 16:9	
640 x 480 @ 75Hz	1366 x 768 @ 60Hz		720 x 576p @ 50Hz 4:3	
800 x 600 @ 56Hz			720 x 576p @ 50Hz 16:9	
800 x 600 @ 60Hz			1280 x 720p @ 60Hz 16:9	
800 x 600 @ 72Hz			1280 x 720p @ 50Hz 16:9	
800 x 600 @ 75Hz			1920 x 1080i @ 60Hz 16:9	
832 x 624 @ 75Hz			1920 x 1080i @ 50Hz 16:9	
1024 x 768 @ 60Hz			1920 x 1080p @ 60Hz 16:9	
1024 x 768 @ 70Hz			1920 x 1080p @ 50Hz 16:9	
1024 x 768 @ 75Hz			1920 x 1080p @ 24Hz 16:9	
1280 x 1024 @ 75Hz			3840 x 2160 @ 24Hz	
1152 x 870 @ 75Hz			3840 x 2160 @ 25Hz	
			3840 x 2160 @ 30Hz	
			4096 x 2160 @ 24Hz	

### デジタル (HDMI 2.0)

B0/確立タイミング	B0/標準タイミング	B1/ビデオモード	B1/詳細タイミング
720 x 400 @ 70Hz	1280 x 720 @ 60Hz	720 x 480i @ 60Hz 16:9	1920 x 1080p @ 60Hz
640 x 480 @ 60Hz	1280 x 800 @ 60Hz	720 x 480p @ 60Hz 4:3	
640 x 480 @ 67Hz	1280 x 1024 @ 60Hz	720 x 480p @ 60Hz 16:9	
640 x 480 @ 72Hz	1920 x 1200 @ 60Hz (レデュースド)	720 x 576i @ 50Hz 16:9	
640 x 480 @ 75Hz	1366 x 768 @ 60Hz	720 x 576p @ 50Hz 4:3	
800 x 600 @ 56Hz		720 x 576p @ 50Hz 16:9	
800 x 600 @ 60Hz		1280 x 720p @ 60Hz 16:9	
800 x 600 @ 72Hz		1280 x 720p @ 50Hz 16:9	
800 x 600 @ 75Hz		1920 x 1080i @ 60Hz 16:9	
832 x 624 @ 75Hz		1920 x 1080i @ 50Hz 16:9	
1024 x 768 @ 60Hz		1920 x 1080p @ 60Hz 16:9	
1024 x 768 @ 70Hz		1920 x 1080p @ 50Hz 16:9	
1024 x 768 @ 75Hz		1920 x 1080p @ 24Hz 16:9	
1280 x 1024 @ 75Hz		3840 x 2160 @ 24Hz	
1152 x 870 @ 75Hz		3840 x 2160 @ 25Hz	
		3840 x 2160 @ 30Hz	
		3840 x 2160 @ 50Hz	
		3840 x 2160 @ 60Hz	

# 追加情報

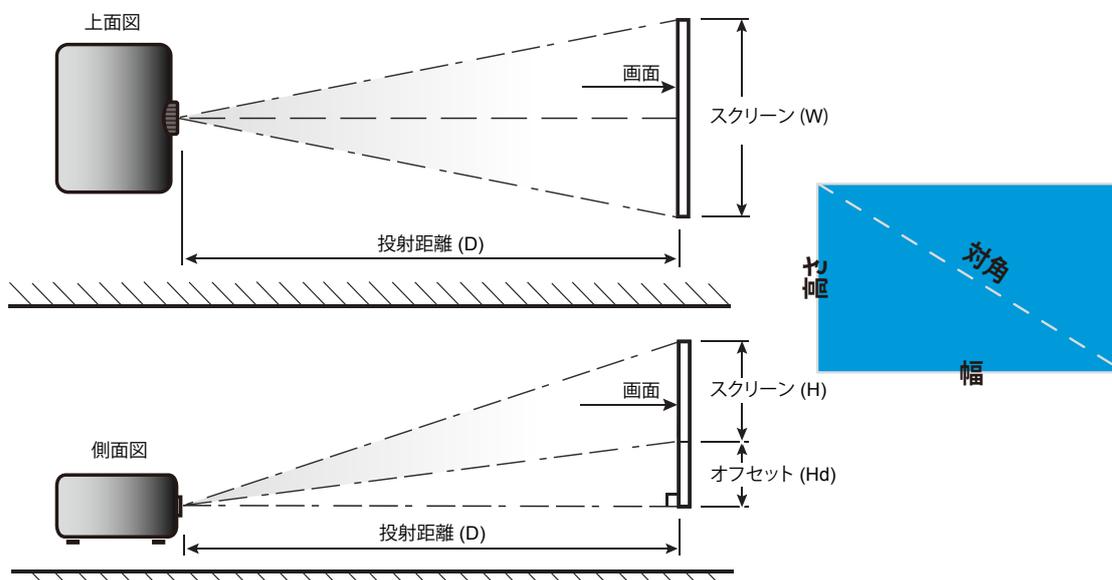
B0/確立タイミング	B0/標準タイミング	B1/ビデオモード	B1/詳細タイミング
		4096 x 2160 @ 24Hz	
		4096 x 2160 @ 25Hz	
		4096 x 2160 @ 30Hz	
		4096 x 2160 @ 50Hz	
		4096 x 2160 @ 60Hz	

**注記:** 1920 x 1080 @ 50Hz をサポートします。

## イメージサイズと投射距離

16:9 画面の対角長さ (インチ)	画面サイズ幅 x 高さ				投射距離 (D)			
	(m)		(インチ)		(m)		(フィート)	
	幅	高さ	幅	高さ	広角	望遠	広角	望遠
30	0.66	0.37	26.15	14.71	0.80	0.80	2.62	2.62
40	0.89	0.5	34.86	19.61	1.06	1.06	3.48	3.48
50	1.11	0.62	43.58	24.51	1.33	1.33	4.36	4.36
60	1.33	0.75	52.29	29.42	1.59	1.59	5.22	5.22
70	1.55	0.87	61.01	34.32	1.86	1.86	6.10	6.10
80	1.77	1	69.73	39.22	2.13	2.13	6.99	6.99
90	1.99	1.12	78.44	44.12	2.39	2.39	7.84	7.84
100	2.21	1.25	87.16	49.03	2.66	2.66	8.73	8.73
120	2.66	1.49	104.59	58.83	3.19	3.19	10.47	10.47
150	3.32	1.87	130.74	73.54	3.98	3.98	13.06	13.06
180	3.98	2.24	156.88	88.25	4.78	4.78	15.68	15.68
200	4.43	2.49	174.32	98.05	5.31	5.31	17.42	17.42

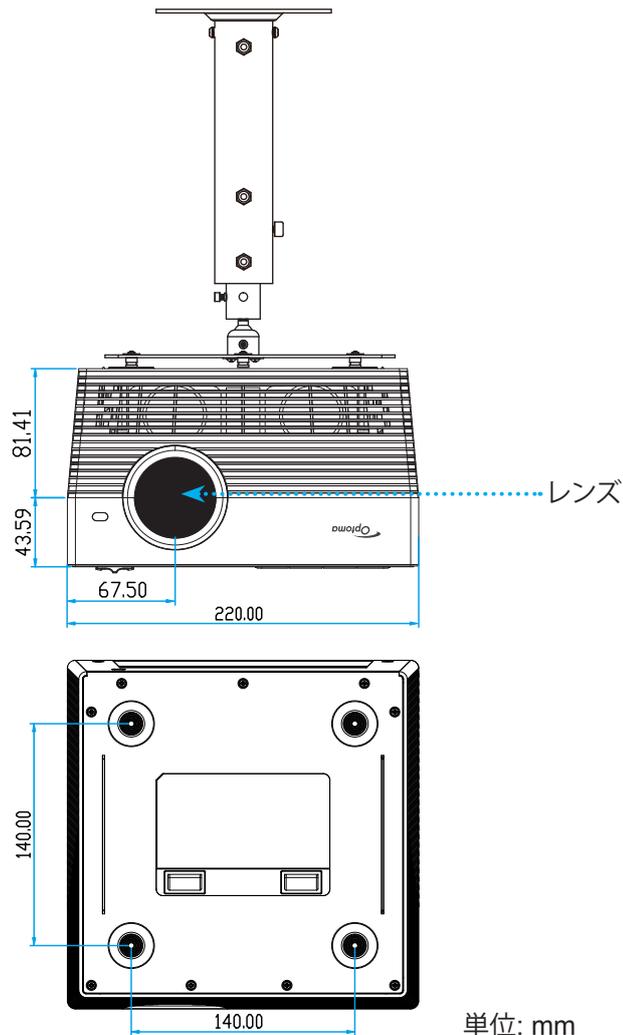
**注記:** ズーム比: 1.0x



# 追加情報

## プロジェクターの寸法と天井取り付け

1. プロジェクターの損傷を防ぐため、必ずOptoma の天井用パッケージを使用して取り付けてください。
2. 他社製の天井キットをご利用になる場合は、プロジェクターを取り付けるネジが以下の仕様に適合していることを必ず確認してください。
  - ネジの種類: M4\*4
  - 最小ネジ長: 10mm



### 注記:

- プロジェクターを正しく取り付けしていないことが原因で発生した損傷に関しましては、保証は無効になります。予めご了承ください。
- 4本の脚を取り外した後、プロジェクターを直接天井取り付けブラケットに設置し、M4ネジを使って固定することができます。
- スピーカーを塞がないでください。スピーカーの全体的な音質に影響を与える可能性があります。



### 警告:

- 他社製の天井キットをお求めになる場合、必ずネジのサイズが正しいことをご確認ください。ネジのサイズは、天井プレート（天吊りプレート）の厚みによって異なります。
- プロジェクターの底部と天井の間には、少なくとも10 cmの隙間が開くようにします。
- プロジェクターは、熱源の近くに設置しないで下さい。

# 追加情報

## IR リモートコード



キー	キー番号	MTX.	アスペクト比	データ 0	データ 1	データ 2	データ 3	説明	
電源オン/オフ	⏻	K12	04	F1	32	CD	71	8E	「プロジェクターの電源を入れる/切る」のセクション (20~22 ページ) を参照してください。
ソース	📺	K3	11	F1	32	CD	18	E7	📺 を押して、入力信号を選択します。
ホーム	🏠	K13	03	F1	32	CD	92	6D	🏠 を押して、ホーム画面に戻ります。
メニュー	☰	K8	17	F1	32	CD	0E	F1	☰ を押して、オンスクリーン (OSD) メニューを起動します。OSD を終了するには、もう一度 ☰ を押します。
戻る	↶	K4	10	F1	32	CD	86	79	↶ を押して、前ページに戻ります。
上	▲	K7	18	F2	32	CD	11	EE	▲▼◀▶ を使用して、項目を選択する、または、選択に合わせて調整を行います。
左	◀	K14	02	F2	32	CD	10	EF	
右	▶	K5	09	F2	32	CD	12	ED	
下	▼	K2	19	F2	32	CD	14	EB	
入力	Enter	K9	16	F1	32	CD	0F	F0	選択した項目を確定します。
ミュート	🔇	K15	01	F1	32	CD	52	AD	🔇 を押して、プロジェクターの内蔵スピーカーのオフオンを切り替えます。
ディスプレイモード	📺	K10	15	F1	32	CD	91	6E	📺 を押して、ディスプレイモードメニューを表示します。
オプション	⋮	K6	08	F1	32	CD	25	DA	⋮ を押して、プロジェクター設定を構成します。
音量 -	-	K11	12	F2	32	CD	0C	F3	- を押して、音量を小さくします。
音量 +	+	K1	05	F2	32	CD	09	F6	+ を押して、音量を大きくします。

# 追加情報

## Bluetooth リモコンコード



キー	Bluetooth 信号		IR 信号	説明	
	使用ページ	使用 ID			
電源オン/オフ	⏻	0x07	0x66	71	「プロジェクターの電源を入れる/切る」のセクション (20 ~ 22 ページ) を参照してください。
ソース	📺	0x07	0x71	18	📺 を押して、入力信号を選択します。
ホーム	🏠	0x0C	0x223	92	🏠 を押して、ホーム画面に戻ります。
メニュー	☰	0x07	0x76	0E	☰ を押して、オンスクリーン (OSD) メニューを起動します。OSD を終了するには、もう一度 ☰ を押します。
戻る	↶	0x0C	0x224	86	↶ を押して、前ページに戻ります。
上	▲	0x07	0x52	11	▲▼◀▶ を使用して、項目を選択する、または、選択に合わせて調整を行います。
左	◀	0x07	0x50	10	
右	▶	0x07	0x58	0F	
下	▼	0x07	0x4F	12	
入力	Enter	0x07	0x51	14	選択した項目を確定します。
ミュート	🔇	0x0C	0Xe2	52	🔇 を押して、プロジェクターの内蔵スピーカーのオフ/オンを切り替えます。
ディスプレイモード	📺	0x07	0x72/0x70	6A/6B	<ul style="list-style-type: none"> <li>📺 を押して、ディスプレイモードメニューを表示します。</li> <li>📺 を長押しして、自動フォーカス調整を実行します。</li> </ul>
オプション	⋮	0x07	0x73	25	⋮ を押して、プロジェクター設定を構成します。
音量 -	-	0x0C	0xEA	0C	- を押して、音量を小さくします。
音量 +	+	0x0C	0xE9	09	+ を押して、音量を大きくします。

# 追加情報

## トラブルシューティング

プロジェクターに問題が発生した場合は、以下をご参照ください。それでも問題が解決しない場合、最寄りの販売店またはサービスセンターにお問い合わせください。

### 画像の問題

#### ❓ 画面に画像が表示されない

- すべてのケーブルと電源が、「設置方法」の章に記載されている手順どおりに正しく接続されていることを確認してください。
- 各接続ピンが曲がっていたり、壊れていないかどうか、ご確認ください。
- [ミュート] 機能がオンに設定されていないか確認してください。

#### ❓ 画像のピントが合っていない

- [FOCUS] ボタンを使用して、フォーカスを調整します。17 ページを参照してください。
- 投射画面がプロジェクターから必要な距離の間に入っていることを確認してください。(60 ページを参照してください)。

#### ❓ 16:9 DVD タイトルを再生表示しているとき、画像が伸びる

- アナモフィック DVD または 16:9 DVD を再生しているとき、プロジェクターはプロジェクター側で 16:9 フォーマットで最高の画像を表示します。
- 4:3 フォーマット DVD タイトルを再生している場合、プロジェクター OSD で 4:3 としてフォーマットを変更してください。
- お使いの DVD プレーヤーで、16:9 (ワイド) アスペクト比タイプとして表示フォーマットをセットアップしてください。

#### ❓ 画像が大きすぎる、または小さすぎる

- プロジェクターを画面に近づけたり、遠ざけたりしてください。
- プロジェクターパネルの [メニュー] を押して、[映像設定 → アスペクト比] に進みます。別の設定を試してみます。

#### ❓ 画像が横に傾く:

- 可能であれば、プロジェクターがスクリーンの中央下端に来るように配置し直してください。

#### ❓ 画像が反転する

- OSD から [プロジェクター設定 → 設置モード] を選択し、投射方向を調整します。

#### ❓ 音が鳴りません

- サポートされるオーディオファイル形式 (43 ページ) を参照してください。

#### ❓ HDMI 画面が異常です

- HDMI EDID 設定を 1.4 または 2.2 に選択します。37 ページを参照してください。

# 追加情報

## ☐ ぼやけた二重画像

- 通常の 2D 画像がぼやけた二重画像にならないよう、[ディスプレイモード] が 3D でないことを確認してください。

## ☐ 2つの画像、サイドバイサイドフォーマット

- [3D 設定] → [3D 映像フォーマット] を [サイドバイサイド] に設定します。

## その他の問題

### ☐ プロジェクターがすべてのコントロールへの反応を停止します

- 可能であれば、プロジェクターの電源を切って電源コードを抜き、20 秒待ってから電源を接続し直してください。

## リモコンの問題

### ☐ リモコンが作動しない場合、次を確認してください

- リモコンの操作角度が、プロジェクターの IR レシーバーから水平方向に  $\pm 15^\circ$  以上、垂直方向に  $\pm 10^\circ$  以上ずれていないことを確認します。
- リモコンとプロジェクターとの間に障害物がないことを確認する。プロジェクターから 7 m (約 22 フィート) 以内に移動する。
- 投射画像に向けることにより、リモコン操作を試みてください。
- 電池が正しくセットされていることを確認します。
- 電池が消耗したら交換してください。

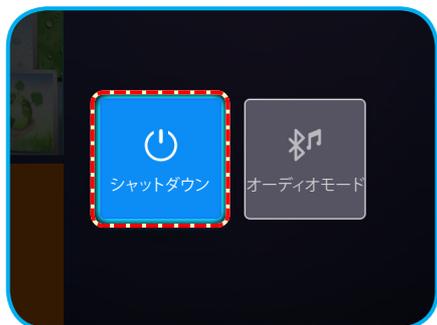
# 追加情報

## LED 点灯メッセージ

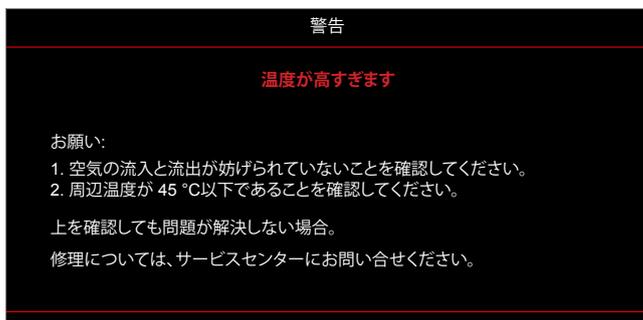
メッセージ	ステータス LED			
	(赤)	(緑)	(青)	(白)
スタンバイ状態 (入力電源コード)	点灯			
パワーオン				点灯
システムブートステータス		点灯		
電源オフ (冷却)				点滅 (0.5 秒オフ / 0.5 秒オン)。冷却ファンがオフになると、赤の点灯に戻ります。
Bluetooth スピーカー				点灯
Bluetooth ペアリング	点滅 (赤 1/6 秒、次に、 青 1/6 秒)		点滅 (赤 1/6 秒、次に、 青 1/6 秒)	
電源オンのスタンバイ				点灯
スマートホームの 状態 (スタンバイ)	点灯			点滅 (3 秒オフ / 0.5 秒オン)
エラー (ランプトラブル)	点滅 (0.5 秒オフ / 0.5 秒オン)			
エラー (ファントラブル)	点滅 (0.5 秒オフ / 0.5 秒オン)	点滅 (0.5 秒オフ / 0.5 秒オン)		
エラー (過熱)	点灯	点灯		
USB FW アップグレード	点滅		点灯	

# 追加情報

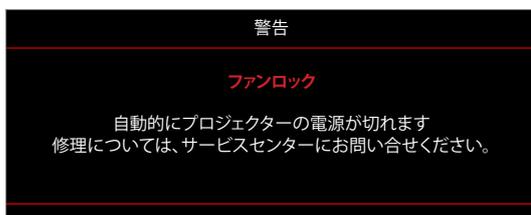
- 電源オフ:



- 温度警告:



- ファンのトラブル:



- 電源ダウン警告:



# 追加情報

## 仕様

光学	説明
最大解像度	- 最大グラフィック 2160p@60Hz - 最大解像度: HDMI1 (2.0): 2160p@60Hz HDMI2 (2.0): 2160p@60Hz
レンズ	固定レンズ
イメージサイズ (対角)	30インチ ~ 200インチ
投射距離	0.8m ~ 5.3m

電気	説明
入力	- HDMI V2.0 x2 - USB3.0 (USB フラッシュドライブ用 (最大 64GB (NTFS) またはサービス用)) - USB2.0 (USB フラッシュドライブ用 (最大 64GB (NTFS) またはサービス用)) - RJ-45 (Web コントロールを未サポート)
出力	- ヘッドホンジャック - USB3.0 (電源 5V 1.5A 用) - USB2.0 (電源 5V 1A 用) - SPDIF 出力 (PCM または Bitstream) <b>注記:</b> PCM は 2 チャンネルを Bitstream は 5.1 チャンネル (例えば、Dolby パススルー) をサポートします。
色再現	10 億 7340 万色
スキャン速度	- 水平スキャン速度: 31 ~ 135 KHz - 垂直スキャン速度: 24 ~ 120 Hz
内蔵スピーカー	2x 8W スピーカー
電力要件	100 ~ 240V ±10%、AC 50/60Hz
入力電流	3.8A ~ 1.0A

機械	説明
取り付け方向	フロント、リア、フロント - 天井、リア - 天井
寸法 (幅 x 奥行 x 高さ)	- 220 x 220 x 125 mm (フットを除く) - 220 x 220 x 135 mm (フットを含む)
重さ	3.76kg
環境条件	5 ~ 40°C、10% ~ 85% 湿度 (結露なし) で動作

**注記:** 仕様はすべて予告なしで変更されることがあります。

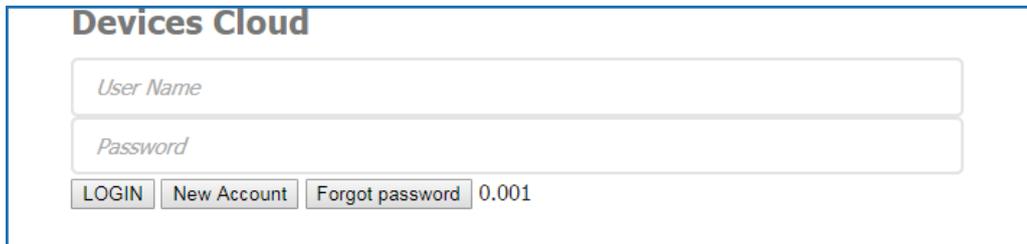
# 追加情報

## プロジェクターでスマートホームを構成する

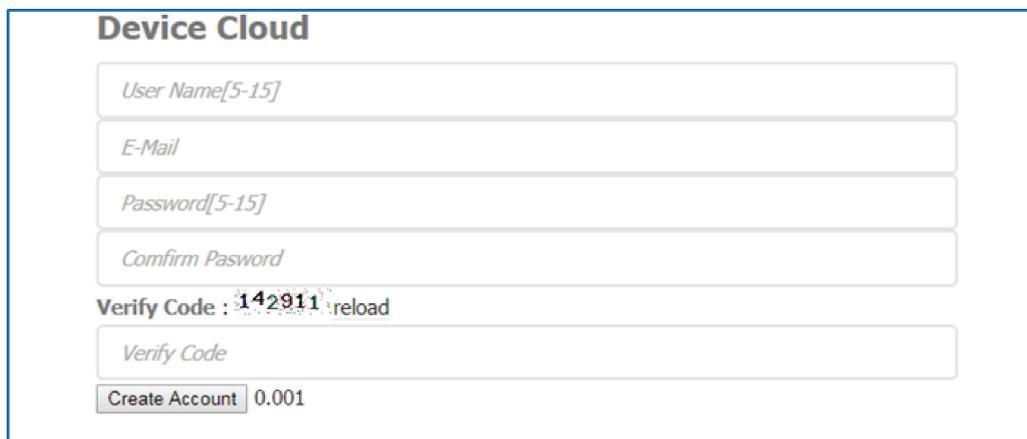
### Device Cloud アカウントを作成する

1. Web ブラウザーを開き、Optoma Device Cloud ログインページに接続します。次に、**新しいアカウント**をクリックして、新しいアカウントを作成します。

**注記:** Optoma Device Cloud の URL: <https://mydevices.optoma.com>.



2. Optoma Device Cloud の必須アカウント情報を入力し、**検証コード**フィールドに認証コードを入力します。



3. **アカウントを作成**をクリックして、アカウントを作成します。アカウント登録に成功すると、画面にメッセージが表示されます。

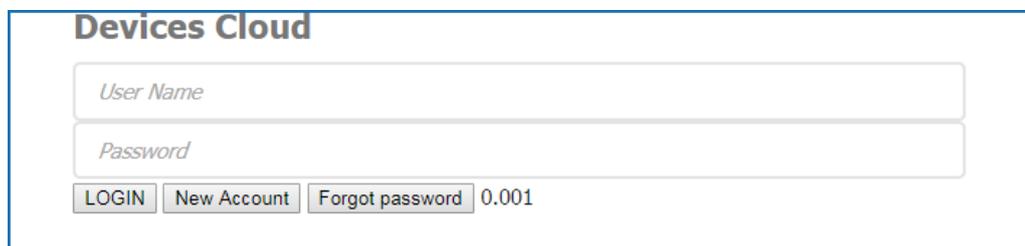
**Account create successfully.**  
**Click to Login**

アカウントを設定すると、システムにログインし続けることができます。

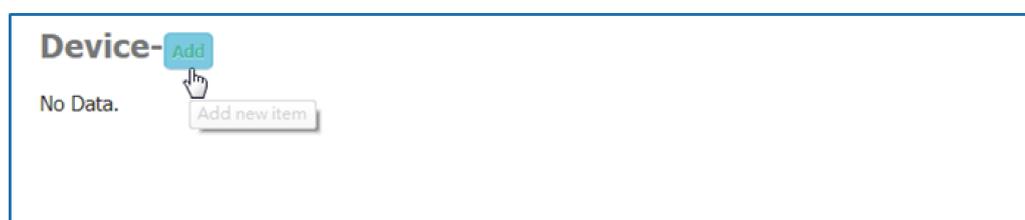
# 追加情報

## プロジェクターを Device Cloud に登録する

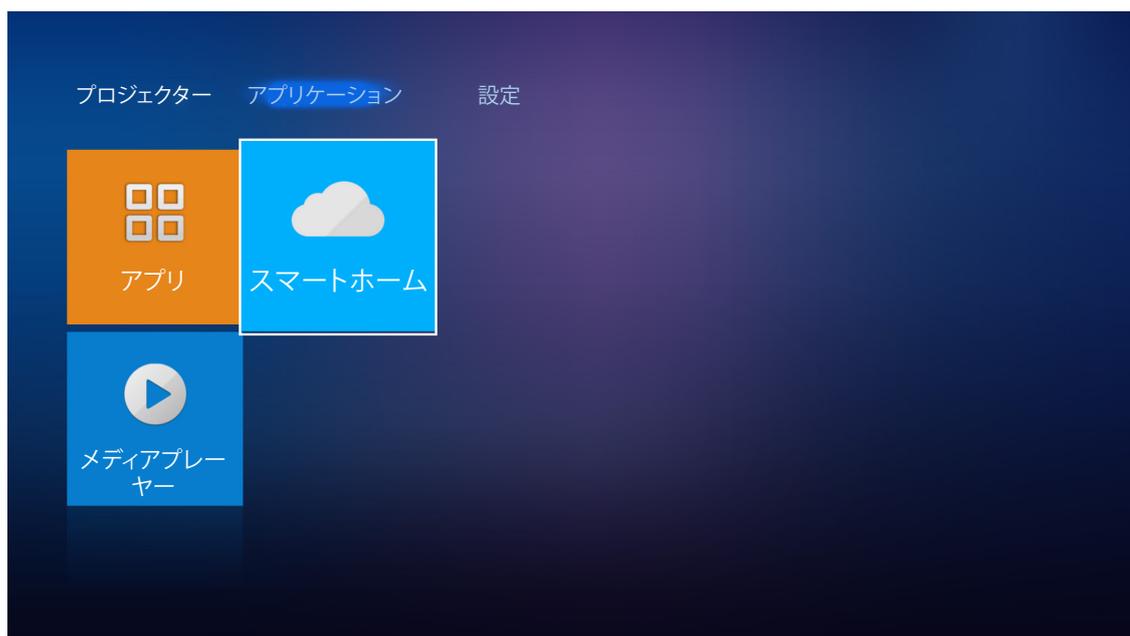
1. Web ブラウザーを開き、Optoma Device Cloud ログインページに接続します。次に、ユーザー名とパスワードを入力し、**ログイン**をクリックして、システムに入ります。



2. **追加**をクリックして、新しいプロジェクターの情報を追加します。次のステップでは、**ペアコードデータ**が必要になります。必ず、このページに留まり、次のプロジェクター設定を実行してください。

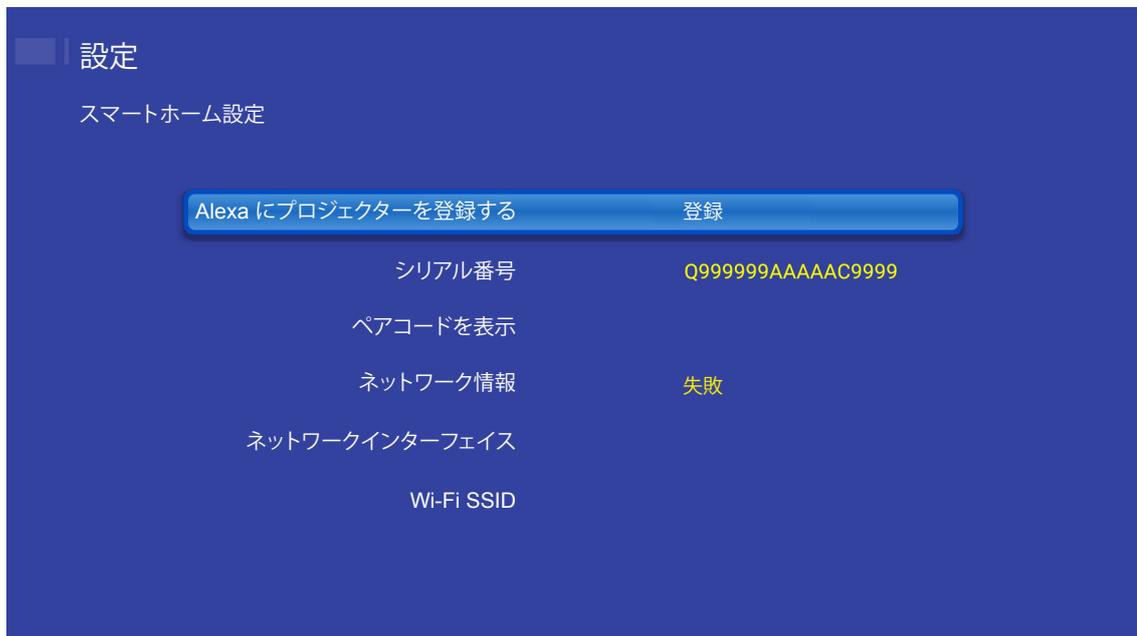


3. プロジェクターを開くには、**アプリケーション > スマートホーム**に進みます。



# 追加情報

4. **登録**をクリックして、Device Cloud から 4 桁のペアコードを取得します。ペアコードが生成されると、**ペアコードを表示**フィールドに表示されます。



**注記:** ペアコードが表示されない場合は、適切なネットワーク接続があることを確認し、もう一度上のステップを繰り返してください。

5. *Device Cloud* ページで、シリアル番号、ペアコード、プロジェクター名をそれぞれのフィールドに入力します。次に、**送信**をクリックして、プロジェクターを登録します。

**注記:**

- シリアル番号およびペアコード情報は、スマートホーム設定ページから取得できます (ステップ 4 を参照)。
  - 「エイリアス」フィールドのデータは、後で変更できます。
6. 登録プロセスが完了すると、シリアル番号およびプロジェクター名が、デバイスページに表示されます。

Serial Number	Alias	
SN20171109001	zebra	Alias Remove

Device is added.

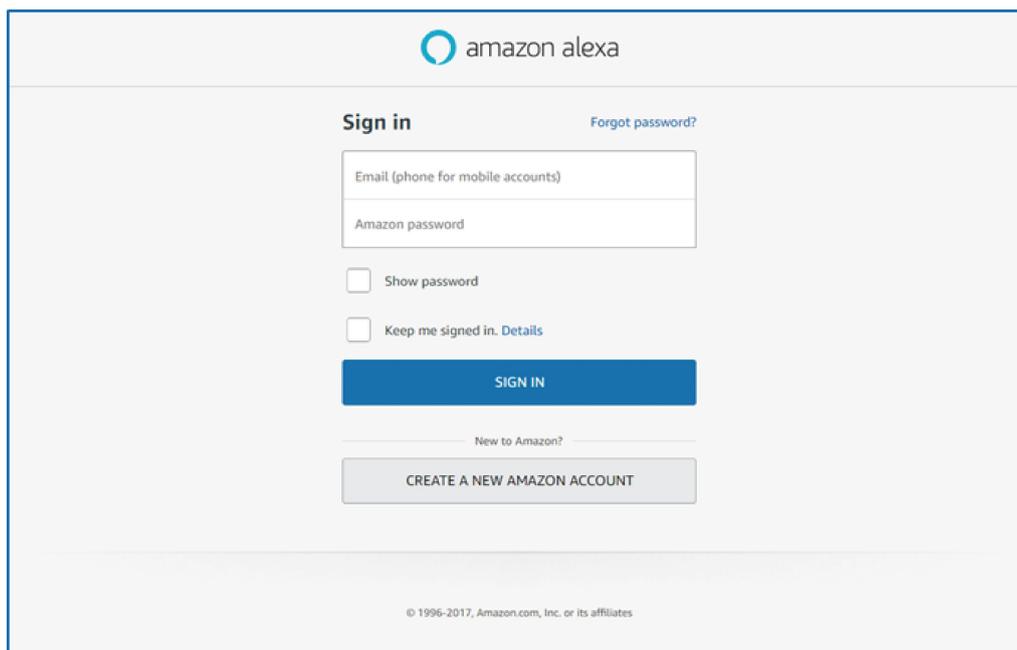
# 追加情報

情報を編集するには、以下を行います：

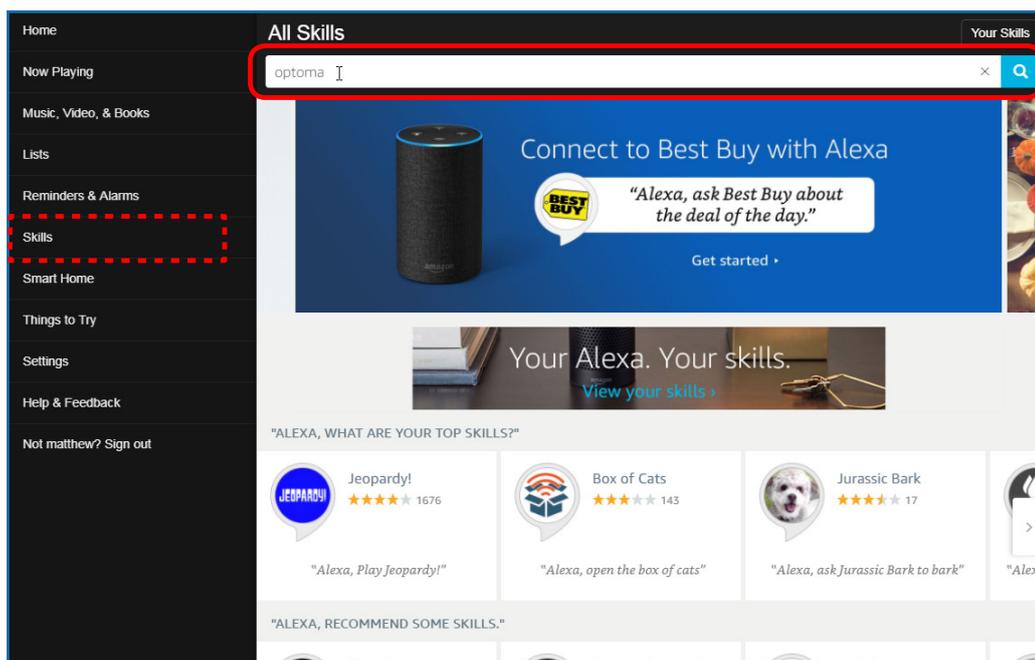
- **エイリアス**をクリックして、プロジェクター名を変更します。
- **削除**をクリックして、シリアル番号を削除します。

## Alexa スキルを有効にする

1. Web ブラウザーを開き、Amazon Web サイト (“https://alexa.amazon.com”) に進みます。次に、Alexa アカウントを使用してログインします。

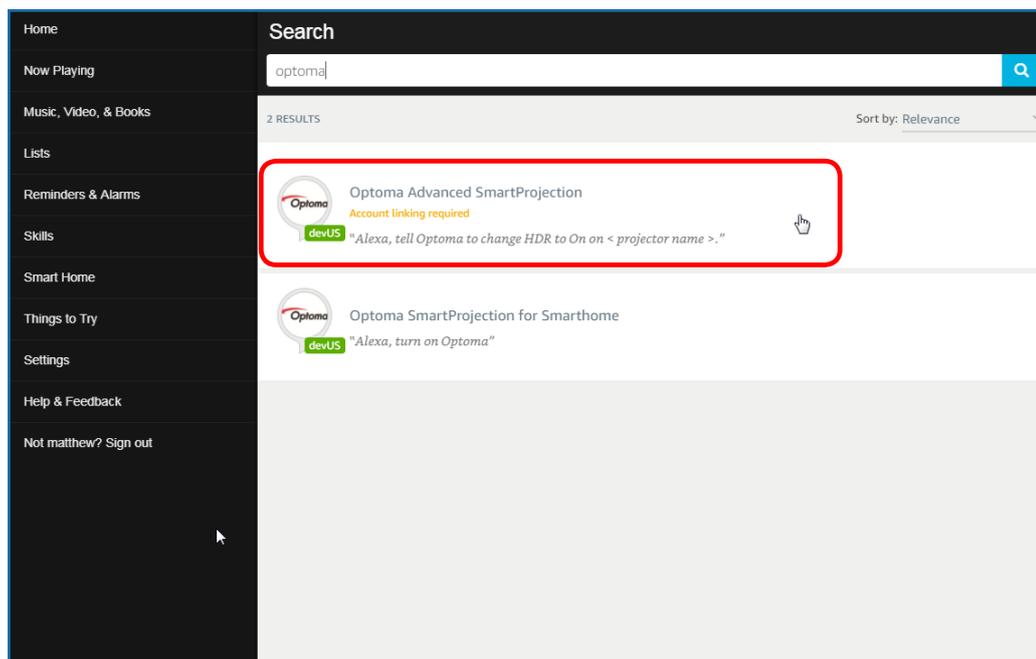


2. メニューに進み、**スキル**を選択します。次に、検索ボックスにキーワード (例えば、Optoma、プロジェクター、Smarthome、スマートホーム、Smartprojector、プロジェクター、UHD51A、UHD400X、UHD41A、ディスプレイ、ボイス) を入力し、検索 (🔍) をクリックします。

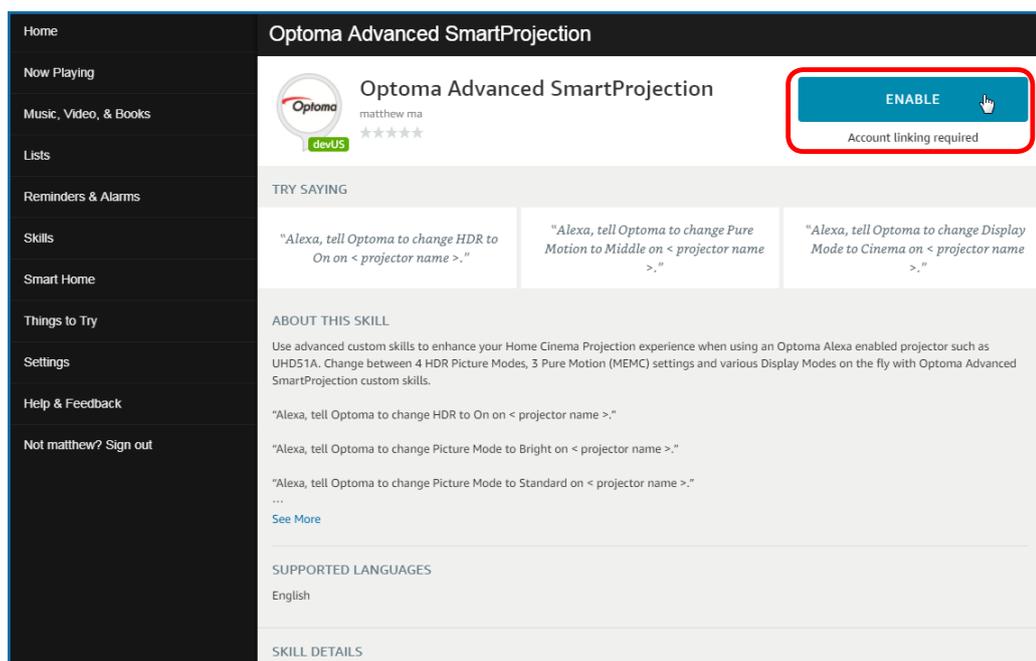


# 追加情報

3. リストから使用するスキルを選択します。

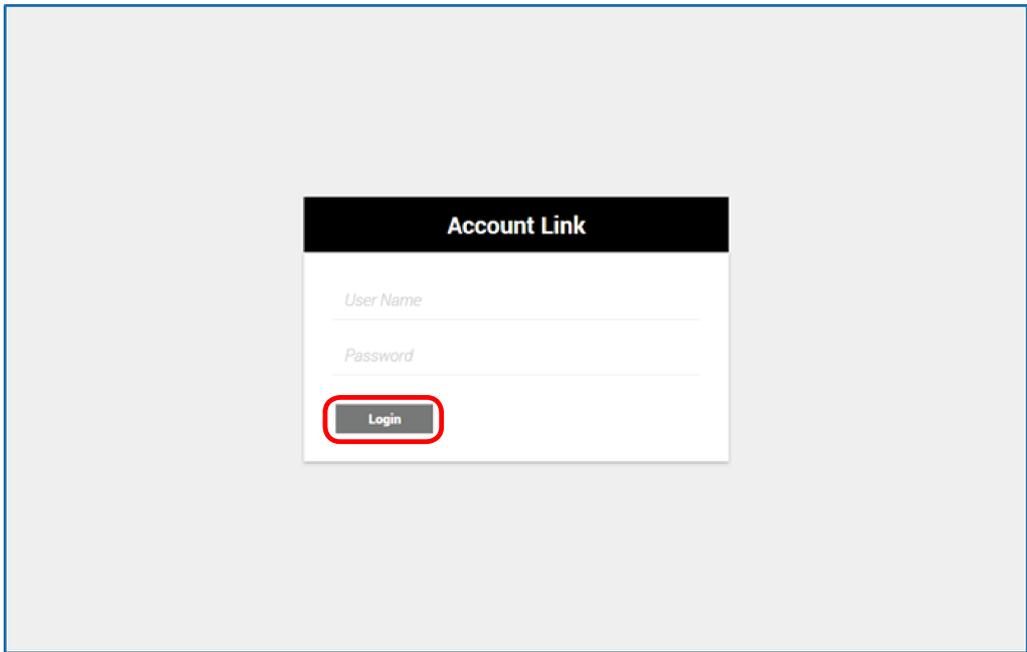


4. 選択されたスキルページで、有効をクリックして、スキルを使用します。



## 追加情報

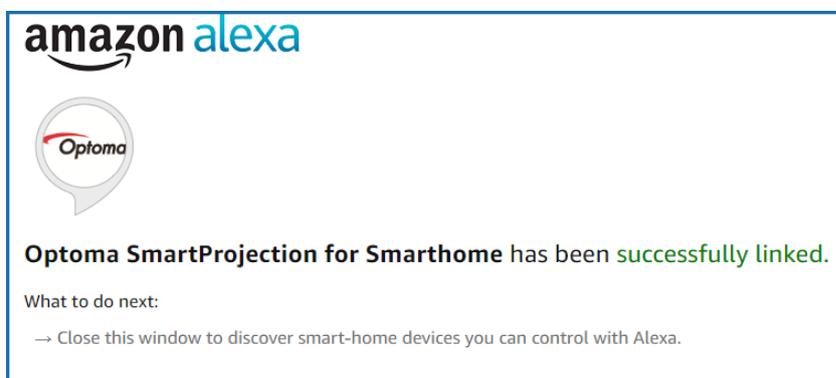
- 次に、ブラウザーは、Device Cloud アカウント認証ページにリダイレクトされます。認証する Device Cloud アカウントとパスワードを入力します。次に、**ログイン**をクリックして、アカウントを検証します。



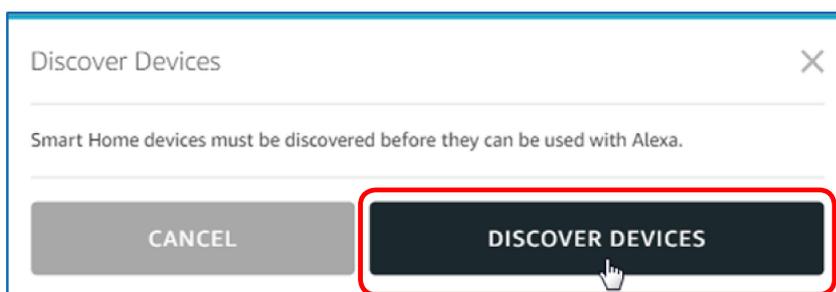
- 認証プロセスが完了後、次のステップは、選択してスキルタイプ (スマートホームスキルまたはカスタムスキル) により異なります。

### スマートホームスキル

- 認証プロセス完了後、ウィンドウを閉じて、Alexa によりコントロールできるデバイスを検出します。

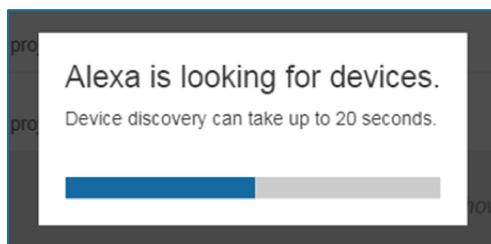


- 画面にポップアップウィンドウが表示されます。**デバイスを検出**をクリックして、スマートホームデバイスを検出します。

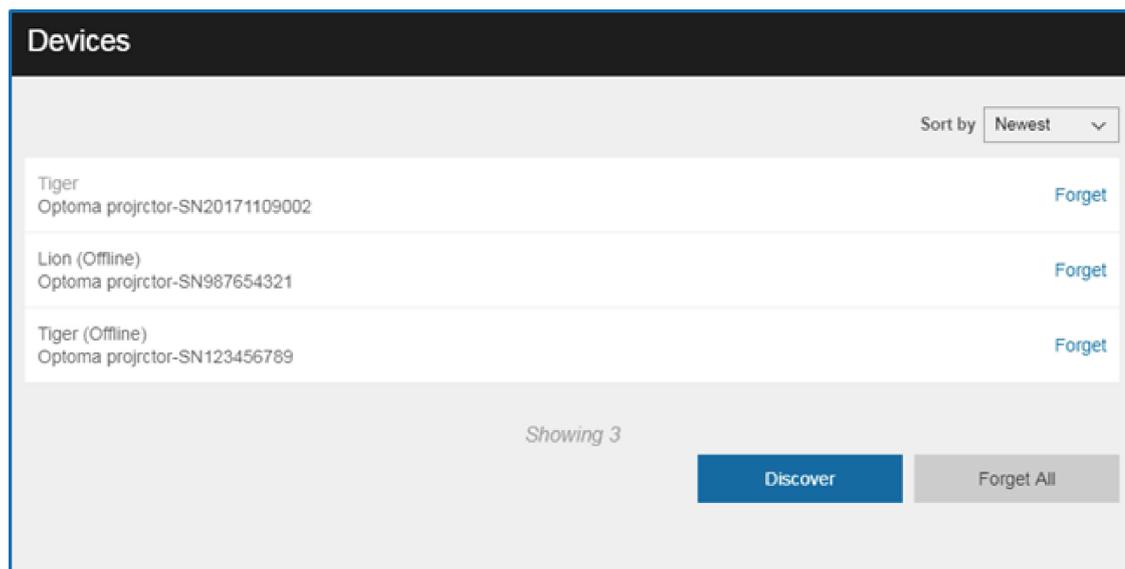


# 追加情報

- c. スマートホームデバイスを検索します。



- d. Device Cloud アカウントの下の **デバイス** ページに検出されたデバイスのリストが表示されます。



- e. ボイスコマンドを使って、スマートホームデバイスをコントロールできます。

## カスタムスキル

- a. 認証プロセス完了後、カスタムスキルリンク成功メッセージが画面に表示されます。次に、ウィンドウと Web ページを閉じます。



- b. カスタムスキルにより定義されたボイスコマンドを使用して、デバイスをコントロールできます。

# 追加情報

## Optoma 社グローバルオフィス

サービスやサポートにつきましては、現地オフィスにお問い合わせください。

### アメリカ

47697 Westinghouse Drive,  
Fremont, CA 94539, USA  
www.optomausa.com

☎ 888-289-6786  
📠 510-897-8601  
✉ [services@optoma.com](mailto:services@optoma.com)

### カナダ

47697 Westinghouse Drive,  
Fremont, CA 94539, USA  
www.optomausa.com

☎ 888-289-6786  
📠 510-897-8601  
✉ [services@optoma.com](mailto:services@optoma.com)

### 中南米及びメキシコ

47697 Westinghouse Drive,  
Fremont, CA 94539, USA  
www.optomausa.com

☎ 888-289-6786  
📠 510-897-8601  
✉ [services@optoma.com](mailto:services@optoma.com)

### ヨーロッパ

Unit 1, Network 41, Bourne End Mills,  
Hemel Hempstead, Herts,  
HP1 2UJ, United Kingdom  
www.optoma.eu  
サービスダイヤル:  
+44 (0)1923 691865

☎ +44 (0) 1923 691 800  
📠 +44 (0) 1923 691 888  
✉ [service@tsc-europe.com](mailto:service@tsc-europe.com)

### Benelux BV

Randstad 22-123  
1316 BW Almere  
The Netherlands  
www.optoma.nl

☎ +31 (0) 36 820 0252  
📠 +31 (0) 36 548 9052

### フランス

Bâtiment E  
81-83 avenue Edouard Vaillant  
92100 Boulogne Billancourt, France

☎ +33 1 41 46 12 20  
📠 +33 1 41 46 94 35  
✉ [savoptoma@optoma.fr](mailto:savoptoma@optoma.fr)

### スペイン

C/ José Hierro,36 Of. 1C  
28522 Rivas VaciaMadrid,  
Spain

☎ +34 91 499 06 06  
📠 +34 91 670 08 32

### ドイツ

Wiesenstrasse 21 W  
D40549 Düsseldorf,  
Germany

☎ +49 (0) 211 506 6670  
📠 +49 (0) 211 506 66799  
✉ [info@optoma.de](mailto:info@optoma.de)

### スキャンディナビア

Lerpeveien 25  
3040 Drammen  
Norway

☎ +47 32 98 89 90  
📠 +47 32 98 89 99  
✉ [info@optoma.no](mailto:info@optoma.no)

PO.BOX 9515  
3038 Drammen  
Norway

### 韓国

WOOMI TECH.CO.,LTD.  
4F, Minu Bldg.33-14, Kangnam-Ku,  
Seoul,135-815, KOREA  
korea.optoma.com

☎ +82+2+34430004  
📠 +82+2+34430005

### 日本

東京都足立区綾瀬3-25-18  
株式会社オーエス  
コンタクトセンター: 0120-380-495

✉ [info@os-worldwide.com](mailto:info@os-worldwide.com)  
www.os-worldwide.com

### 台湾

12F., No.213, Sec. 3, Beixin Rd.,  
Xindian Dist., New Taipei City 231,  
Taiwan, R.O.C.  
www.optoma.com.tw

☎ +886-2-8911-8600  
📠 +886-2-8911-6550  
✉ [services@optoma.com.tw](mailto:services@optoma.com.tw)  
asia.optoma.com

### 香港

Unit A, 27/F Dragon Centre,  
79 Wing Hong Street,  
Cheung Sha Wan,  
Kowloon, Hong Kong

☎ +852-2396-8968  
📠 +852-2370-1222  
www.optoma.com.hk

### 中国

5F, No. 1205, Kaixuan Rd.,  
Changning District  
Shanghai, 200052, China

☎ +86-21-62947376  
📠 +86-21-62947375  
www.optoma.com.cn



P/N:36.7DE01G002-A